









ひめばせう(名) 美人蕉ばせうのたぐひ植物  
 ひめる(他) 秘、かくす(秘密にする)  
 ひめかぐら(名) 山梨字(植物)  
 ひめがき(名) 短堞、こがき(城牆の)、女牆、雉堞  
 ひめがみ(名) 比賣神、女神をんながみ  
 ひめよし(名) 蕪(植物)  
 ひめよもぎ(名) 野艾蒿(植物)  
 ひめたちばな(名) 金柑はなたちばな、盧橘(植物)  
 ひめつばき(名) 女貞ねずみもち(植物)  
 ひめづた(名) 姫蕪(植物)  
 ひめう(形) 美妙、みごと(にたへなる)  
 ひめう(形) 微妙、隠微にして高妙なるをいふ  
 ひめうり(名) 金鷲瓜、姫瓜(植物)  
 ひめのり(名) 米糊、糊糝、絹糊、こめのり  
 ひめぐるみ(名) 陳倉胡桃(植物)  
 ひめくぐ(名) 水蜈蚣(動物)  
 ひめまつ(名) 東堅司あづまわらは(禁中の女官)  
 ひめご(名) 秘事、かくしごと、密事  
 ひめごまつ(名) 姫小松、こえふのまつ(植物)  
 ひめごふし(名) 重華辛夷、千葉樹、ひでこふし(植物)  
 ひめあざみ(名) 苦菜(植物)  
 ひめさかづき(名) 金盞花、長春花、杏葉草(植物)  
 ひめさかづき(名) 姫君、公主、王侯の女子  
 ひめゆり(名) 山丹、紅百合、紅花、葉蓮珠(植物)  
 ひめみや(名) 姫宮、皇女、内親王(天子の女子)  
 ひめみこ(名) 皇女、みめみや  
 ひめしば(名) 馬唐、くさのな(植物)

ひめしをん(名) 女萎(植物)  
 ひめも(副) 終日、盡日、ひねもす、いちにち  
 ひめんする(他) 罷免、やめさす(官職を)  
 ひめん(名) 被面、かはかくし、かはれほひ  
 ひみ 美味、うまきもの  
 ひみつ(形名) 秘密、ひそか、ひそかごと  
 ひみつをけ(名) 火水桶、酒造家の用ふる桶の名  
 ひみず(形) 日不見、ひのめもみぬ  
 ひし(する) 卑視、みさげ  
 ひし(名) 菱沙角、水栗、菱、ひつびし(植物)  
 ひし(名) 飛矢、それや、ながれや、流矢  
 ひし(名) 紐糸、よりいと  
 ひし(名) 篋竹を編で單となして魚を捕ふる者  
 ひし(名) 蕪、蕪、鋏にて造たる菱形にて戰地に散布して人  
 馬の足を刺す者、渠、答、鬼箭  
 ひし(する) 他、誹謗、そしめる、のしめる  
 ひし 彼是、かれこれ、あちこち、彼此  
 ひし(名) 蕪、蕪、はまびし  
 (植物)  
 ひじ(名) 秘事、かくしごと  
 と、密事  
 ひじ(名) 非時れどき、僧  
 家のふるまひめしを  
 云ふ、齋飯  
 ひし 微志、微衷、寸志、すこしのこころざし(謙遜の詞)  
 ひじ 美事、よきこと、はむべきこと  
 ひじに(名) 餓死、うゑじに



(圖の蕪)

ひしは(名) 醬菜茹の(醃肉の)しはから  
 ひしは 干沙、乾潮、ひきしは  
 ひじとう(名) 眉兒豆、いんげんまめ(植物)  
 ひじり(名) 聖善智識また聖人をいふ  
 ひじりだけ(名) 蕪、さいはいはひだけ、苳(植物)  
 ひしぬひ(名) 蕪、ひしがたのぬひ  
 ひじをかか(名) 穢、穢、うでをまくる  
 ひしかは 菱川(氏)  
 ひしがた(名) 菱形、三角形、ひしのかたち  
 ひしがくし(俗名) 秘隱、ふかくかくすこと  
 ひしよ 避暑、あつさをさく  
 ひしよ 秘書、たいじのかきもの  
 ひしよ(名) 緋色、あかいろ、緋色  
 ひしよ(形名) 非職、つとめなし、非役  
 ひしよ(名) 皮膚、しきがは、かはのしよもの  
 ひしよ(名) 美食、うまきもの、うまひもの、うまひ  
 ひしよ 美色、うつくしきいろ、美貌  
 ひしよ(名) 秘書官、大臣等に屬する書記官  
 ひしつ(形) 卑濕、ひくくしてしめれる  
 ひしつ 比日、連日、まいにちひなみ  
 ひしづめまつり 鎮火祭、火神の祭  
 ひしう 悲秋、ものがなしきわき、あはれをよめるあき  
 ひしう(する) 自 比周、したしむ、なじむ  
 ひしう(する) 自 悲愁、かなしみ、うれふ  
 ひしう(する) 自 尾従、あとにしたがふ  
 ひしう(他) 挫、さりひしう、挫折、くじく、挫敗、折辱、拗  
 ひしく(名) 鴻、かり(動物)

ひしや(名) 飛車、將棋の駒の名  
 ひじや 日出山(氏)  
 ひじやがね(名) 束拘金、しめがね、扣子  
 ひじやう(する) 自 悲傷、かなしみ、いたむ  
 ひじやう(する) 自 飛翔、とびかける、まひかける  
 ひじやう(名) 副將、そひだし、しやう、副將  
 ひじやう(名) 皮匠、かはなめし、かはし、かはざり、くはん  
 ひじやう 肥壤、よきとち、こねたるつち  
 ひじやう(形) 非常、つねならぬ、なみならぬ、なみはずれ  
 の、異常  
 ひじやう(形) 非情、こころなき、情性を有せぬの義にして  
 草木の如きを謂ふ  
 ひじやう 微傷、あさで、輕傷、うすで  
 ひじやうじやうこく 非常、上告(罪名の定まりし後に特  
 別に其罪人の爲に上告する事)  
 ひじやく(する) 飛鋏、たびあるさする(僧が)行脚、遊行  
 ひじやく(名) 瘡癩、つかへ、じやくのやまひ  
 ひじやく(名) 柄杓、ひさく、すくふうつは、じやくふうつ  
 は  
 ひじやく(形) 卑弱、卑劣、軟弱、よわき  
 ひじやく(形) 懦弱、よわき、れくびやう  
 ひじやく(形) 微弱、よわき、よわよわしき  
 ひじやく(名) 飛錫人、あんぎやをう(行脚僧)雲水僧  
 ひじやくもんでん(名) 毘沙門天、多聞天(四天王の二)  
 ひじけ(名) 天陰、あめより、しげ  
 ひじげばな(名) 川鼻、つぶればな、ひらたきはな  
 ひじよ(形) 卑濕、ひくくしてしめれる



ひしこ(名) 鯉鱒魚、ごまめ、田作(動物)  
 ひしこ(名) 日仕事、日事、一日一日の受取り仕事  
 ひじき(名) 鹿角菜、六味菜(植物)  
 ひしゆ(名) ヒ首、ひもかたな、あひくち、こわきぎ、よろ  
 ひどほし  
 ひじゆ(名) 秘呪まじなひ  
 ひじゆ(名) 秘術、じゆばん、あせり  
 ひじゆ(名) 啤酒、ビール、にがきぎ  
 ひじゆ 美酒、よきき、金葉松、重碧、椒芳、歡日、玉液、流  
 露、標清、うまきぎ  
 ひしゆ(名) 媚珠、はらしゆのたま、狐がもつ、云ふ寶玉  
 ひしゆ(名) 眉壽、ながきいのち、家壽、長壽  
 ひじゆつ 秘術、わくのて、かくしわざ  
 ひじゆつ(名) 美術、雕刻、繪等の類を美術と曰ふ  
 ひじゆん(する) 他) 批准、ゆるす(國王等が他邦との條約  
 等と)  
 ひじゆん(する) 他) 比準、なぞらへる  
 ひじゆん 彌旬(一句を滿る即ち十日を經過するを云ふ)  
 ひじゆく(名) 嘈鬧、さわぎたつ  
 ひしひしと(副) 拗拗、僻僻、推よする貌  
 ひしん(名) 飛信、急便、いそぎのしらせ  
 ひじん(名) 鄙人、のなかも、ひなびと  
 ひしん 微身、いやしきみぶん、小身  
 ひしん 微臣、いやしきけら  
 ひじん(名) 美人、うつくしきをんな  
 ひじんさう(名) 美人草、はなげし、麗春花、錦被花(植物)  
 ひえ(名) 鞭、鞭物の類(植物)

ひえどり(名) 鴨、ひよどり(動物)  
 ひえる(名) 冷つめたくなる  
 ひえつ(する) 披閱、披覽、披見、ひらきみる(披見に同じ)  
 ひえう(名) 秘要、秘訣、たくぎ、かなめ  
 ひえう(名) 稗植、穀、ねなかげしきのほこには  
 ひえあたり(名) 冷病、さむけあたり  
 ひえさげ(名) 稗酒、ひえにてつくれるさけ  
 ひえき(名) する他) 裨益、ねき、ため、ためをなす  
 ひえん(名) 飛煙、のき  
 ひえん(名) 飛煙、かぎたばこ  
 ひひ(形副) 霏霏、ひらめく(雪等が)ひらひら  
 ひひ(副) 靡靡、なびく貌(揺する貌)  
 ひひ(副) 比比、みなみな、をこなべて  
 ひひ(名) 狒、わらひげも  
 ひひ(名) 大猴の一種にし  
 し此猴東方の大陸及  
 び其近傍の諸島に産  
 す(動物)  
 ひひする(自) 披靡、ひらけなびく、まけしりぞく(單勢  
 が)  
 ひひ(名) 脛、脛、くちひび  
 ひひ(形) 霏霏、ひらひらと  
 ひひ(名) 響、われすぢ、ひびり、ぎす  
 ひひ(名) 餅、餅、ひびわれ、われ皮のあかぎり  
 ひひ(副) 日、日、ひにひに、毎日  
 ひひ(形) 微微、かすか、わづか



びび(名) 眉尾、まゆじり  
 ひひる(自) 冲(鳥の高く飛ぶ貌)、狎  
 ひひる(名) 蚕蛾(動物)  
 ひびる(自) 縮、すくむ、ぢぢまるひ  
 ひびかす(他) 令響、ひびきをたよぼす、ならず  
 ひひつ 飛筆、ふでをふる、揮毫  
 ひひつ(名) 批筆、刀、ふできりこがたな  
 ひびそ(名) 粗生絲、あらきさいと  
 ひびらく(自) 疼、ひりつく、いたむ  
 ひひらぎ(名) 衛茅、ひらぎ、椋(植物)  
 ひひう(名) 紕謬、あやまり  
 ひびく(自) 響きこねわたる  
 ひひやう(名) する他) 批評(文章等の價直を評定する  
 をいふ)  
 ひびやう(名) 避病院、患病を避くる病院  
 ひびやき(名) 轉燒(陶器の燒方に云ふ又水裂燒とも名く  
 其見る所に一面にひびあどあるを謂ふ)  
 ひびあかぎれ(名) 駢駢(手足等の皮が寒氣に破れたるを  
 謂ふ)  
 ひびき(名) 響なり、ねと、ねん(音)  
 ひびさわたる(自) 響渡、なりわたる  
 ひびしき(形) 美美、敷うるはしき  
 ひも(名) 紐、ひぼ、くみいと  
 ひもろぎ(名) 膳宗廟の祭肉の煮熟したる物、脰(其生な  
 る者)  
 ひもろぎ(名) 神籬、かみがき、みつがき、たまがき  
 ひもと(名) 火主、火事の起りし所、失火人、くわじだした

ひもと(名) 火元、火を焚きなどする場を謂ふ  
 ひもとく(他) 繕、ひらく(書物等を)  
 ひもどき(名) 紐解、女兒の七歳の祝賀を云ふ  
 ひもち(名) 火持、火にこたへる事、また火が長くながれ  
 ぬ事)  
 ひもがた(名) ヒ首、あひくち、短刀  
 ひもつ(名) 被物、かつげもの、たまもの  
 ひもなほし(名) 紐直(皇子を太子に立てんとするに先だ  
 ちて行なふ儀式)  
 ひもうで(名) 日詣、ひまわり(神佛への)日參(につさん)  
 ひもの(名) 乾魚、干物、枯魚、ひうをほし、かな、鮓魚  
 ひもの(名) 檜物、檜の木にて作れる物、ひものづくり  
 ひものし(名) 檜物、檜の木にて物を作る人)  
 ひもく(名) 眉目、みめ、かほかたち  
 ひもくぎ(名) 比目魚、かれい、鰈(動物)  
 ひもじい(形) 空腹、はらのすきたる、うゑたる  
 ひもすどり(名) 慈鳥(動物)  
 ひもん(名) 秘文、秘密の文詞、まじなひ  
 ひせい(名) 飛星、ながればし、流星  
 ひせい(形) 美晴、よきはれ、快晴、はれわたれる、はれやか  
 (天氣が)  
 ひせい(名) 飛生虫、かぶとむし(動物)  
 ひせい(名) 飛生鳥、むささび(動物)  
 ひせにかし(名) 日貸、行錢、ひなしかし(金を貸して毎  
 日取あぐる者)  
 ひせう、秘抄、秘密の抄書



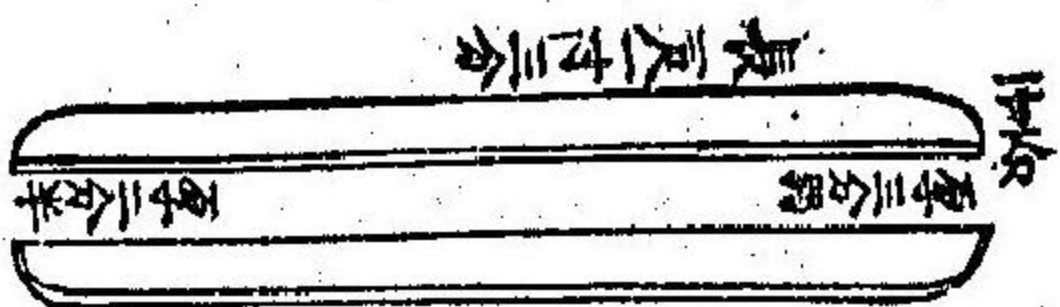
ひせう(する)他 比照してあはする  
 ひせう(形) 肥醜、こねたるゆたかなる(土地が)  
 ひせう(形) 微少、すこし、わづか  
 ひせう(する) 微笑、はほほむ、にこにこわらふ、莞爾笑  
 ひせふ(名) 婢妾はしためしつかひ、こじもど  
 ひせき(名) 肥瘠、こねたるやせたる  
 ひせき(名) 砒石ねづみころし  
 ひせん(名) 肥泉、田圃にそそぐ水、ようする(用水)  
 ひせん 飛泉、たき瀑布、飛瀾  
 ひせん 非戰、いくさをあししとする、いくさをこのまぬ  
 ひせん 罷戦、いくさをあしする  
 ひせん(形) 卑賤、いやしき  
 ひせん(副) 貴然、はなやかか、びびしく  
 ひせん 肥前(西海道の國名)  
 ひせん(する)自 疲瘁、つかれよわる  
 ひせん(名) 皮膚疥癬、しつ(病名)  
 ひせん(形) 微賤、いやしき  
 ひせん 備前(山陽道の國名)  
 ひせん(名) 被選人、えらまれるひと、おらばるべき  
 ひせ ひと  
 ひす(名) 繩洗、禁中に奉仕せし賤女の稱  
 ひす(名) 翡翠、かはせみ、せうびん(動物)  
 ひす(する) 微睡、まどろむ、まどろする  
 ひす(する)自 尾隨、おどおど、跟隨、おどにしたがふ  
 ひす(する)名 箒、銃、小銃、銃砲  
 ひす(する)他 比、くらぶるならぶる  
 ひす(する)形 鬪、あはれあはれ、かたくな

ひす(する)自 歪、ゆがむ、まがる  
 ひす(する)名 乾蒸餅、かたきばん(英語)  
 ひす(する)名 蹄、馬等の爪を謂ふ  
 ひん(名) 品、しな  
 ひん(名) 貧、まづしきこと、貧乏、まづしき  
 ひん(名) 便、たより  
 ひん(名) 鬢、鬢面の兩方の上の髪  
 ひん(名) 硝子壺、ふらそ、ぎやまんどり、びんざら、  
 くり瓶  
 ひん(名) 品位、しな、くらゐ、等級  
 ひん(名) 便路、つがふよきみち、捷徑  
 ひん(名) 貧、まづしきこと、やつやつしき  
 ひん(名) 牝馬、めうま、をんなうま、ま、うやく(動物)  
 ひん(名) 續、ひらめく、ひらひらする  
 ひん(名) 頻、繁、しげき、たはき、しきりなる(事務など  
 の)頻頻  
 ひんによ 貧女、まづしきをんな  
 ひんぼ 牝牡、めすをす(獸の)  
 ひんぼ(う)かづら(名) 烏蘇梅、やぶからし、五爪龍(植物)  
 ひんぼ(う)がみ 貧乏神、黒暗天女、窮鬼  
 ひんべん(する)自 黽勉、はげむ、つとむる  
 ひんべん(名) 品等、しな、くらゐ(物の)  
 ひんち(名) 品秩、しな、等級、差別  
 ひんりやう(名) 品量、めかた  
 ひんりやう(する)他 憫、あはれむ  
 ひんる 品類、しな、たぐひ

ひんか 貧家、まづしき家  
 ひんかう(名) 品行、たこなひ、みもち  
 ひんかく(名) 貧客、まらうと、まらうと、客人  
 ひんかく(名) 品格、しな、がら、じんびん  
 ひんがてう(名) 頻伽鳥、妙聲鳥、逸音鳥、極樂國の鳥  
 ひんたい(名) 品貽、みつこ(三子)  
 ひんだう 貧道、わたくし(僧侶、自己を謙稱する詞)  
 ひんそん 貧村、まづしきむら、寒村、やせむら  
 ひんづる 貧頭、盧(白頭、長眉の羅漢にして寺院の前にた  
 きて人に摩する者)  
 ひんづら(名) 鬢、みづら鬢、鼎つのがみ、あげまき、了角  
 (頭上、角の如くせる髪、の毛)  
 ひんつけ(名) 髮油、かみあぶら  
 ひんらう(名) 檳榔子(植物)  
 ひんのぬすみ 貧盜、貧に迫りて物を盗む事  
 ひんく(名) 貧苦、まづしきくるしみ  
 ひんくわ(名) 品科、しな  
 ひんぐし(名) 鬢櫛、小梳、見びんかきぐし  
 ひんやう(名) 牝羊、ひつじのめす(動物)  
 ひんけい(名) 牝鷄、にはどり、のめす(動物)  
 ひんけい(名) 品詣、品位を謂ふ  
 ひんけい(形) 敏慧、かしてき、すばや  
 ひんけつ(名) 貧血、血の足らぬ病  
 ひんぶ 貧富、まづしきとあはれ  
 ひんぶ(名) 稟賦、うまれつき、稟質、天性  
 ひんぶく(する)自 實服、きたりしたがふ(外國が)  
 ひんぶん(副形) 續、つらみだれて、つらみだる(花の散

る貌等にいふ)  
 ひんご 備後(山陽道の國名)  
 ひんご(する)他 稟告、まらうとあはる、つげあはす  
 ひんごん(名) 貧困、食窮、まづしきこと  
 ひんてん(名) 旻天、あはれみふかきてん  
 ひんさう(名) 貧相、まづしきすがた  
 ひんざら 拍板、拍子、びやくし  
 (樂器)持明院家藏教實親王御  
 物)  
 ひんざし(名) 鬢插、鬢の毛を張る  
 具)  
 ひんざんやう(名) 牝山羊、めやぎ  
 ひんざ(する)他 擯棄、しりぞけ  
 すてる  
 ひんざ(する)自 稟議、まらうとあ  
 ぐる(長上)  
 ひんざ(名) 便宜、よきたより、ついで  
 ひんざ(名) 貧居、まづしきくらし  
 ひんざ(名) 貧窮、まづしき貧困  
 ひんざ(名) 牝牛、あめうし、めうし(動物)  
 ひんみん 品味、いらいらのさかな  
 ひんみん 貧民、まづしきたみ  
 ひんじ(名) 敏指、たやゆび  
 ひんじ(名) 貧子院、貧院、悲田院に同じ  
 ひんじ(名) 品字梅、やつぶどのうめ、つづんばら(種  
 物)

(圖の板拍)



京都府京都市  
 西本願寺  
 藏書















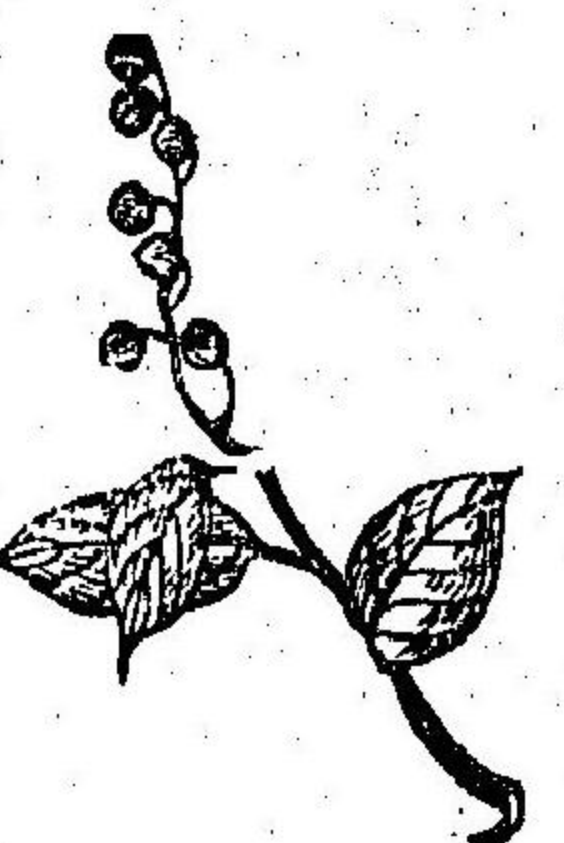
ものねたみ(名) 嫉妬、そねみ、ねたみ  
 ものなり(名) 物成、歳入、租税、貢租、貢納、ねんぐ、そせ  
 ものなりだか 收領、産額、歳入額、ねんぐだか、あがりだ  
 ものうき(形) 懶、ふしやう、懶懈、懶怠、懶惰  
 ものほん(名) 物本書冊を云ふ  
 もののべ 物部(氏)  
 もののぐ(名) 兵器、武器、兵具、軍器、物具  
 もののけ(名) 物怪、邪魅、鬼産、つきもの  
 もののふ(名) 武士、武夫、さむらひ、いくさびと  
 ものぐるひ(名) 發狂、狂乱、癡狂、狂人、狂物、さちがひ  
 ものくふ 食漬、ものくらふ  
 ものぐさ(形) 疎懈、懶惰、なまける、ふしやう  
 ものまへ 物前(何か事のある日の前重に十二月の終  
 りを謂ふ)  
 ものまね(名) 物真似、口伎、まねごと、ひとまね  
 ものまねし(名) 物真似師、百禽鳴人、百鳥鳴人、ものまね  
 のたくみなるひと  
 ものまなび(名) 物學、習學、學問、はんよみ  
 ものまうで(名) 物詣、てらまわり、みやまわり  
 ものこのみ(名) 物好、ものすき  
 ものこのころ(名) 物心、人と成れる者のこのとき心、人情  
 ものこのし(名) 舉止、舉動、たちふるふるま  
 ものこのしに(副) 物越、ものうへより、ものをこえて  
 ものめらがひ(名) 綠藻、螺、綠藻、風動物  
 ものわらそひ(名) 口論、口争、言論、あらしひげんくわ

ものさわがしき(形) 物騒、忽劇、ぶつさうなる  
 ものざね(名) 物實、ものだね  
 ものざし(名) 尺度、ものををはかるうつは、曲尺、かねざし  
 裁尺、くじらじやく  
 ものざびしき(形) 寂寞、寂寞、悽愴、悽愴、しづかなる、にぎ  
 やかならぬ  
 ものざれ(名) 焔、刀劔の焼刃を云ふ  
 ものみ(名) 物見、看臺、看樓、觀臺  
 ものみ(名) 斥候、哨兵、伍候、撥援、軍監、みはりづはもの  
 ものみふね(名) 哨船、斥候船、みはりふね  
 ものしり(名) 物識、明哲、儒知識、かくしや  
 ものしりぐさ(名) 遺毒、をんじこぐさ、要藥、植物  
 ものしづか(形) 物靜、幽靜、幽閑、閑靜、蕭條、淒涼、蕭索、寂  
 寞、寂寥、悽愴  
 ものもらひ(名) 物質、をり、を兒、かたい、ごじき、分衛、囉  
 齋  
 ものもらひ(名) 偷針眼、眼疾の若  
 ものもしき(形) 物物敷、をこがましき  
 ものすき(名) 物漢、寒落、凌兢、ものすき、ごじき  
 ものすき(名) 物好、物數奇、好事家  
 もく(名) 木工、木理、榑、きめ、枋理  
 もく(名) 木工、たぐみ、だいく  
 もく(名) 目暮に云詞  
 もく(他) 掩竿、掩、扱、もごさる  
 もく(自) 黙前、かみのたすけ  
 もく(自) 目論見、始計、較計、かんがへる、はかる  
 もく(自) 目錄、かであうがき、しながき、掲點、掲帖、別幅

目六

もくは(名) 木把、こまざらひ  
 もくば 木馬、木につくれる馬  
 もくはひ 木盃、さのさかつき  
 もくべつし(名) 木髓子、まちゃん、植物  
 もくへう(名) 目標、めじろし  
 もくご(名) 目途、めあて  
 もくご(名) 木蠹、みのむし(動物)  
 もくご(名) 木兔、うぐ、みみづく(動物)  
 もくごり(名) 蒙古、もうこ(外國の名)  
 もくごり(俗) 私商、密商、税を出さずして業を營む者  
 もくぐる(自) 潜、くぐる、ひそむ  
 もくか(副) 目下、まのあたり、いま、ただいま  
 もくかう(名) 木瓜、服章、旗號に云ふ  
 もくかう(名) 木香、植物  
 もくかく(名) 木核、このみのさね  
 もくよく[する] (自) 沐浴、かみあらい、ゆあみする、あび  
 る  
 もくよく(名) 沐浴衣、ゆかた  
 もくだい(名) 目代、めつけやく、しはいにん(役名)  
 もくたう(名) 木桃、くさぼけ、植物  
 もくたう[する] 黙禱、心の中に神にいのるを云ふ、だま  
 りていのる  
 もくたん(名) 木炭、木をやきて取りたる炭  
 もくれい(名) 木靈、こだま、樹の靈たる神物  
 もくれい(名) 目禮、めじやく、あいきつ  
 もくれい(名) 木藜、はなひりのき、うとげし(此枝葉

を藪桶中に投すれば蛆  
 は速に消滅し且臭氣を  
 止む(植物)  
 もくれんじ(名) 木槩子、ひ  
 くらじ(植物)  
 もくそう[する] (他) 目送、  
 みねくる  
 もくそう(名) 木葱、かりぎ、植物  
 もくづ(名) 藻屑、川或は海に流るる草席等をいふ  
 もくつう(名) 木通、あけび、植物  
 もくねん(形) 黙然、だまりて、ものいはぬ  
 もくら(名) 木螺、みのむし(動物)  
 もくら(名) 鼯鼠、うぐろもち、土龍、動物  
 もくら(名) 葎、むぐら、くさのな、植物  
 もくらん(名) 木蘭、いたむ、杜蘭、木連、植物  
 もくらんいろ 木蘭色、黄綠色(染色)  
 もくくわ(名) 木瓜、ぼけ、しごみ、植物  
 もくくわ[する] 黙過、だまりてとほる  
 もくくわ[する] 默會、いはずしてささる、こころにさ  
 ざる  
 もくくわい(名) 目貫、めつふしたけ(馬勃を見よ)  
 (植物)  
 もくくわせき 木化石(石になりたる木)  
 もくぐう(名) 木偶、にんぎやう、木像  
 もくまんぢう(名) 木饅頭、まきさのかつら、植物  
 もくげ(名) 棉花、木槿、はちすむくげ、植物  
 もくけい(名) 木楔、はうだて

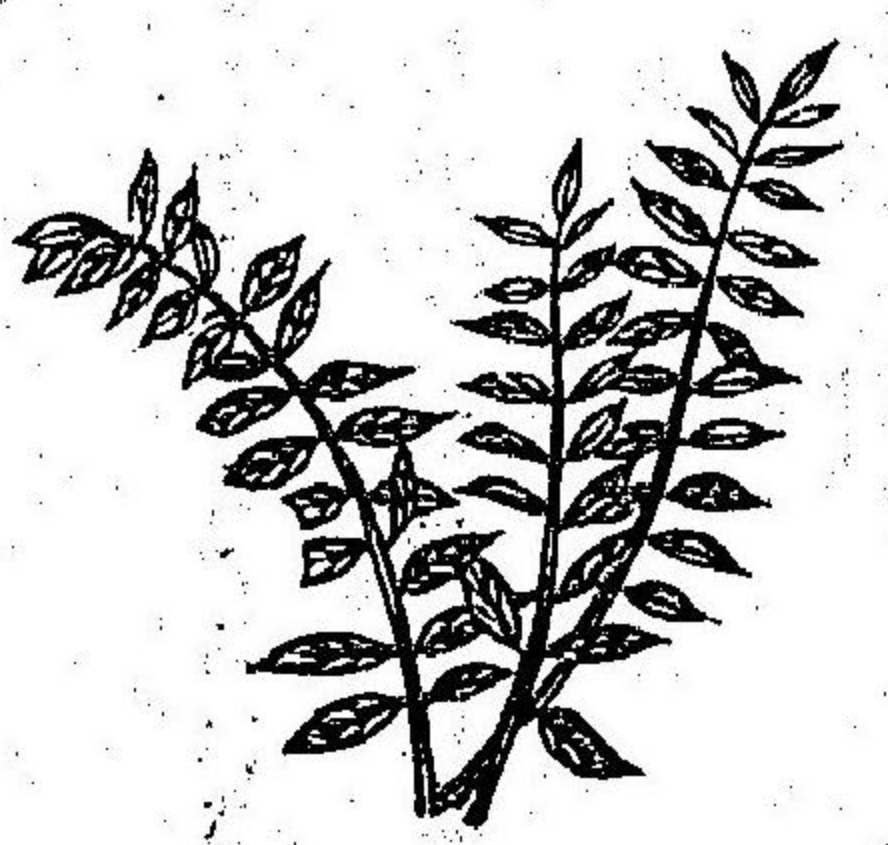




もくけい「する」 黙契、よくあふ  
 もくげき「する」 目撃、めにみる  
 もくげんじ「名」 木槌子、つぶのみ  
 もくげんじゆ「名」 木槌樹(植物)  
 もくふよう「名」 木芙蓉、さばちす(植物)  
 もくふつ「名」 木佛、さぼとけ、木像  
 もくこう「名」 沐猴、さる(動物)  
 もくこん「副」 目今、ただいま、さしあたり、目下  
 もくてき「名」 目的、めあて、めじるし、まじ  
 もくてんれう「名」 木天蓼、またたひ(植物)  
 もくざ「する」 黙坐、だまりてすわる、兀坐  
 もくざ「名」 艾、よもぎ、さしもの、さき、醫草、艾蒿、また蕪艾、さ  
 うぐさ(植物)  
 もくざう「名」 木椽、さのかたち、さのぐうざう  
 もくざん「名」 目算、黙算、みつもり、心算、胸算  
 もくき「名」 黙許、其事を知つて咎めざるを謂ふ、いは  
 すしてゆるすこと  
 もくきよ「名」 木魚、魚鼓、佛前にたたく木器  
 もくきん「名」 木錦、ばんや(植物)  
 もくきん「名」 木琴、清樂、音曲の器  
 もくめん「名」 木綿、ゆふを見よ  
 もくめんくわ「名」 木綿花、ゆふばな(植物)  
 「もくめんふてう」名 木綿附鳥、ゆふつけどり(動物)  
 もくみ「名」 木魅、こだま、木靈  
 もくじ「名」 目皆、まなじり、めじり  
 もくじ「名」 目指、めくばせ  
 もくじ「名」 黙示、天の啓示を謂ふ

もくじ「名」 木子、きのみ、このみ  
 もくじつ「名」 木實、このみ、きのみ  
 もくじく「名」 昔措(牧畜の  
 飼料に供し又は田畑の  
 肥料となすものなり)  
 うまごやし(植物)  
 もくじやう「名」 目彰、かん  
 ばん  
 もくじやう「名」 木匠、だい  
 く、たくみ、こだくみ  
 もくじやくやく「名」 木芍  
 藥、ほたん(植物)  
 もくじき「名」 木食、木の果のみを食ふ事  
 もくじきそう「名」 木食僧、穀物を絶ちたる僧、休糧僧  
 もくえうじつ「名」 木曜日(七曜日の一)  
 もくえふ「名」 木葉、このは、さきは  
 もくえふせき「名」 木葉石、このはいじ(樹の葉の化石)  
 もくひつ「名」 木筆、こぶし、辛夷(植物)  
 もくもく「形」 嚙嚙、ひくち、黙黙、いはず、だまりて  
 もくせい「名」 木犀、九里香、桂樹、かつら(植物)  
 もくせい「する」自 目成、めくばせする  
 もくせい 木星(七曜星の一)  
 もくせい 木製、木にて作れるを謂ふ  
 もくせん 目前、めのみへ  
 もくする「自」 黙だまる、無言、ものいはぬ  
 もくすかに「名」 螃蟹(動物)  
 もや「名」 母屋、れもや、身屋、ほんや、ほんたてもの

(圖の昔措)



もや「名」 蒸騰氣、靄霧、きり  
 もや「名」 喪屋、喪中の假住居  
 もやう「名」 模倣、文彩、花樣、花文、かた、又ありさま  
 もやし「名」 孽牙、めだし(野菜の)、賺、黃卷、麩孽(米麥大豆  
 の)  
 もやしむぎ「名」 麥牙、めだしむぎ  
 もやし「形」 協同、共同、合同、くみあひ  
 もやし「名」 舫、雨の船と並べて縛る事  
 もやし「名」 舫船、しばれるふね  
 もやし「形副」 嚙嚙、情情、むじやくしや  
 もやし「他」 燃、焚、やく、やきうしなふ  
 もやし「名」 模倣、いがた、かた  
 もふく「名」 喪服、忌中に着る衣  
 もこ「形」 糞糊、わからぬ、あやふや、曖昧、あきらかならぬ  
 もこ「名」 莫胡兒、蕃國の名  
 もこよふ「自」 崑崙、はふら、めく  
 もてはやす「他」 持離、持賞、ほめたてる  
 もてなし「名」 接待、ちそう、あしらひ、接遇、待遇  
 もてなす「他」 款待、款接、饗應、待遇、接待、ちそうする  
 もてあそぶ「他」 玩斷、弄玩、捺弄、もちてなぐさむ、もち  
 てたのしむ  
 もてあそびもの「名」 玩物、弄物、斷器、戯具、れもちや  
 もてあそぶ「他」 持餘、てにあそぶ、てこぼる  
 もてあそぶ「他」 模造、まねてつくる  
 もてあそぶ「他」 模索、かきまがす、たづねがす  
 もてあそぶ「名」 案内者、あんないにん  
 もてあそぶ「名」 喪着、喪中に用ふる衣を云ふ

もぎ 茂木(氏)  
 もぎ「する」自 模擬、にせる、まねる  
 もぎる「他」 擬、もぐ、もぎとる  
 もぎだう「俗」形 無義道、非道、むり、みちならぬ  
 もめん「名」 木綿、さわた、わた  
 もめんいと「名」 木綿糸、綿線、わたいと  
 もめんはちぢやう「名」 木綿八丈織物の名  
 もめんたな「名」 木綿店、布店、ふともものや  
 もめんづる「名」 木黃芪(植物)  
 もみ「名」 樅(植物)  
 もみ「形名」 絳紅、縹、緋、わかき、絳、緋、緋、緋、わかき、緋  
 もみ「名」 糲、糲、外皮を去らぬ米  
 もみほごす「他」 揉解、もみほごく、もみどく  
 もみどほじ「名」 糲篩、もみふるひ  
 もみぢ「名」 楓、かへで(植物)  
 もみぢ「名」 紅葉、槭樹、丹葉、黄葉、わかきは(木の)  
 もみぢどり「名」 紅葉鳥(動物)  
 もみぢがさ「名」 兎兒傘、もみぢさう(植物)  
 もみぢたけ「名」 樅茸、きのこのな(植物)  
 もみぢぐさ「名」 雁來紅、はげいとう(植物)  
 もみかは「名」 揉革、やはらかがは  
 もみがら「名」 糲殼、穀殼(穀物の外皮)  
 もみやね「名」 糲、もみどめ  
 もみだね「名」 糲種、いねのたね  
 もみれうち「名」 揉療治、あんまどり  
 もみぐら「名」 穀藏、糲庫、もみいれぐら



もみやはらげる(他) 揉軟、揉和、もみほぐす  
 もみけす(他) 揉消、もみてとえしむる(火を)  
 もみふるひ(名) 鷹扇、もみふるうちば  
 もみこむ(他) 揉込、もみいれる  
 もみわけ(名) 耳前毛、みみのまへのけ  
 もみあふ 揉合、くみてれしあふ  
 もみすりらす(名) 鷹殺器、鷹磨、もみひくらす  
 もし(接續詞) 若、如、倘、讓、設、ひよつとして、あるひは、も  
 しくは  
 もじ(名) 文字、もんじ、ふでのあと  
 もしほぐ(名) 漢鹽草、漢草、和歌に用ゆる詞  
 もじくは(接續詞) 讓或、あるひは  
 もじや(名) 文字、もんじ、ふでのあと  
 もじや(副) 若哉、ひよつとして、あるひは  
 もじや(する) (他) 羣鳥、うつつ、しきうつつ、臨書  
 もじめ(する) (俗) 揉擲(體や手を恥らひたる様などに  
 動かすを謂ふ)  
 もえる(自) 萌萌生、もえり、もえり、めくたす  
 もえる(自) 燃烘、やける  
 もえたつ(自) 燃立、やける、やけたつ  
 もえつく(自) 燃着、もえたよふ  
 もえくつ(自) 燃屑、もえ  
 もえく(名) 火草、燃草、やきぐさ、もゆるじなもの、もゆ  
 るたね  
 もえく(名) 燧燭、もえがし、やけぼくひ

もえあがる(自) 燃上、もえたつ、焔、さかんにもゆる  
 もえさ(名) 餘燼、燃片、もくひ、やけぼくひ  
 もえぎ(名) 萌黄、緑色(染色に云ふ)  
 もひ(名) 水、みづ(古語)  
 もひどり(名) 水取、水主、主水、もんど  
 もも(名) 桃、仙菓花(植物)  
 もも(形名) 百十を十合せたる數、ひやく。又大數の意に  
 用ふ  
 もも(名) 股髀、腰(腰の上の太き處)  
 ももいろ(名) 桃色、桃紅、粉紅(染色の名にて桃の花の如  
 き色を謂ふ)  
 ももは(名) 百羽、百羽、はうつこと、多くの鳥の)  
 ももほ(名) 百鳥、百鳥、もろちのどり  
 ももどり 百饌(百味の飲食を謂ふ)  
 ももどせ 百年、百歳、百世、百代、ももよ  
 ももか(名) 百歳兒、くひそめ(生れて百日目に小兒に物を  
 食はする祝を云ふ)、ももかのいはひ  
 ももが(名) 鼯鼠、むささび、げもの(のな(動物))  
 ももだち(名) 股立、袴を高く上にたくりあがるを謂ふ)  
 ももどのてんわう 桃園天皇、人皇第百十六代の帝  
 ももね(名) 股根、もものつけね  
 もものね 桃井(氏)  
 もものさね 桃仁、桃奴、もものたね  
 ももぐ(名) 鼯鼠、ももが、むささび、げもの(のな(動物))  
 ももげ(名) 臙脛、臙(鳥の臙脛を謂ふ)  
 ももあて(名) 腿甲、ももよろひ

ももぎ(名) 楊梅木(植物)  
 ももじり(名) 桃尻、馬上にて善くすわらぬ尻様  
 ももしき(名) 百敷、百寮、百磯、城禁裏を云ふ  
 ももひき(名) 股引、わしぶくろ  
 ももんぢ(俗) (名) 妖怪、妖物、ばけもの  
 もす(俗) (他) 燃も、やす、火を、焚  
 もす(名) 鳴鳩、百舌鳥、伯  
 勞、鳩、ちちらをとせ  
 り(動物)  
 もす 方代(氏)  
 もすそ(名) 裳裙、袴、つ  
 ますそ  
 もん(名) 門、かど  
 もん(名) 紋、いへじるし  
 もんぬん 門院(天子の  
 御生母の尊稱)  
 もんろ(名) 紋船(織物の名)  
 もんば(名) 文派、紋派、紋羽(織物の名)  
 もんば(名) 門派(諸道流義の枝分、わかれ、ながれ  
 もんばつ(名) 門閥、いへがら  
 もんばう 門傍、かどふた  
 もんばう(名) 門壁、いへすぢよきこと  
 もんばん(名) 門番、かどもり(門を守る人)  
 もんべう(名) 門標、もんのへうさつ  
 もんど(名) 門徒、でし  
 もんど(名) 主水、もひどり  
 もんど(名) 竹鱒魚、とる具



もんどりかへす 筋斗、とんぼがへりする  
 もんどづかさ 主水司(官名)  
 もんどら(名) 門洞、門の開き口を謂ふ  
 もんどくてんわう 文徳天皇、人皇第五十六代の帝  
 もんどころ(名) 紋所、服章、いへのもん  
 もんち(名) 門地、いへがら、もんばつ  
 もんち 問知、たづねしる、とひしる  
 もんちは(名) 鬼督郵(植物)  
 もんちう(名) 門胃、いへがら、よさいへすぢ、門閥  
 もんちうしよ(名) 問注所(昔の裁判所)  
 もんちやう(名) 紋帳、各種の紋の形を記したる帳面)  
 もんちやく(名) 問着、紛争、ごたつき、もめ  
 もんりう(名) 門流、いへがらのしそん  
 もんか 門下(師或は君の家を謂ふ)  
 もんかく 門客(食客を謂ふ)  
 もんが(名) 門檔、門框、もんのわく  
 もんかん(名) 門鑑、でいりあらためふだ、門符  
 もんだい(名) 問題、とひ、たづね、疑問  
 もんたちばな(名) 茵芋、みやまじきみ(植物)  
 もんたく(名) 門鐸、あんないすず  
 もんだふ(名) 問答、とひこたへ  
 もんだん(名) 文段、ふみのことば、文句  
 もんれう(名) 門燎、かどび  
 もんぞく(名) 門族、いちもん、いちちん、いつつがら、しん  
 るい  
 もんつきぎもの 章服、じやうもんつきぎもの  
 もんな 門奈(氏)



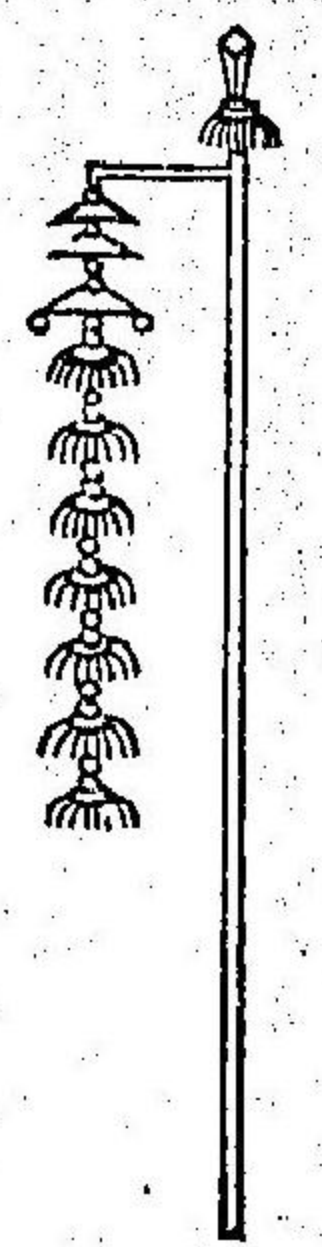
もんない 門内、もんのうち。  
 もんむてんわう 文武天皇(人皇第四十二代の帝)  
 もんのとびら 門扉、門扇、もんのひらきど  
 もんのかぶき 門冠木、もんのうへのよこぎ  
 もんのしきみ 門闕、ちふく  
 もんく(名) 文句、ことば(文章の言句)  
 もんく(する) 問答、もたへくるしむ  
 もんぐわい 門外、かどをいふ  
 もんまう(形) 文盲、もじよめず、あきめくら、無學  
 もんげん(名) 門限、けはなし、もんのしきむ  
 もんげん(俗) 門限(夜中門を閉づる時刻の限りを云ふ)  
 もんふだ(名) 門牌、もんのでいりのふだ  
 もんふだ(いじん) 文部大臣(文部省の長官)  
 もんぶく(名) 紋服、もんつき(ころも)  
 もんぶしやう 文部省(文部省を監督する官省)  
 もんこ(名) 門戸、かどぐち  
 もんごん 文言、ふみのことば  
 もんてい(名) 門弟、でし門生  
 もんざいのし 問罪之師、つみをただすのし(くさ)  
 もんざう(名) 文章、したかき  
 もんざう(する) 問答、もたへくるしむ  
 もんざん(名) 門門、もんのかんぬき  
 もんざりがた(名) 紋切形、もんのかた、又ねさだまり、ねさまり  
 もんざよ(名) 文魚動物  
 もんざよくせい 文曲星(北斗の第四權星)

せ

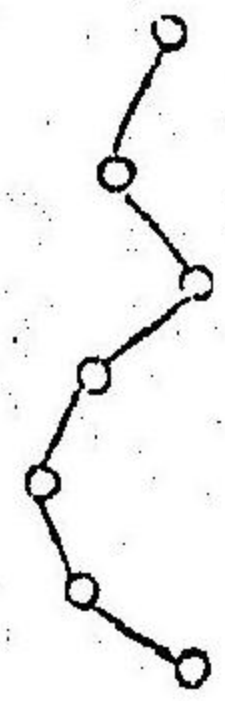
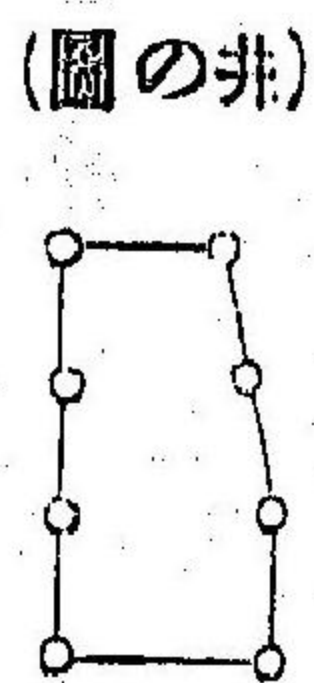
もんめ(名) 分量數(の名)  
 もんじ 文字、もじ、鳥跡、かけるもの  
 もんじよ(名) 文書、かきもの  
 もんじや(名) 紋紗漏地紗(織物の名)  
 もんじや(名) 問者、とふもの  
 もんじやうはかせ 文章博士(大學寮の官名)  
 もんじゆ(名) 門守、かどまもり、かどぐちばん  
 もんじゆ(名) 門主(親王皇族にて寺に入られたるを謂ふ)門跡  
 もんじゆがひ(名) 文殊貝、みるくひ(動物)  
 もんじゆらん(名) 文殊蘭、はまゆふはまをもと(植物)  
 もんじん(名) 門人、でし、をしへど  
 もんえふ(名) 門葉、いへわかれのすゑ  
 もんび(名) 門楣、門上の横梁、かぶき  
 もんひき(名) 挑花匠、かざりひき  
 もんせい(名) 門生、でし門人  
 もんぜつ(する) 自 問絶、たえいる、きとらしなふ、もたへる、たはる  
 もんせき 門跡(皇族にて僧と成られし者の稱)  
 もんせん(名) 門扇、もんのとびら  
 もんぜん 門前、もんのまへ

せ(名)

旗の類



せ(名) 兄あに(古語)  
 せ(名) 伏、をつと、つま(古語)  
 せ(名) 背、そびら、せなか  
 せ(名) 畝、三十歩を謂ふ  
 せ(名) 瀬、はやせ(河の流の急なる處)  
 せ(形) 正、ただしき  
 せ(形名) 聖、かじこき、きよ  
 せ(名) 星(二十八宿の一) (星の圖)  
 せ(形名) 生、いける、又いさ  
 せ(名) 性、たち、さが、性質  
 せ(名) 姓、めうじ(苗氏)、うぢ  
 せ(名) 井(二十八宿の一にして北方に在り) (井の圖)  
 せ(する) 他 征、うつ、せめうつ、征伐  
 せ(名) 制、ねきて、のり  
 せ(形) 青、あをき  
 せ(名) 聲、こゑ、ねど  
 せ(形) 清、きよき、すがすがしき  
 せ(形) 精、くはしき  
 せ(名) 製、つくり、こしらへ、又つくる、製造  
 せ(名) 勢、いきはひ、又勢丸



せ(名) 旗の類  
 せ(名) 所爲、しわざ、なすこと  
 せ(名) 税、ねんぐ、みつき  
 せ(形) する(他) 費、ひだ、いらぬ、無用、むだ、いらふ、よけい、なことをいふ  
 せい 聖意、みこころ、叙慮(天皇の御意を謂ふ)  
 せい(名) 精意、まごころ  
 せい(名) 清渡、みづはなはなし  
 せい 征夷、はびす、うつ  
 せい(た) 征夷、うぐん 征夷大將軍(武家の最高官)  
 せい(形) 精一、ひとすぢなる、まじりなき  
 せい(く) する(自) 生育、うまれ、たつ  
 せい(る) 西域、しやうるん(天竺をいふ) 印度  
 せい(る) 正院、たかみち、に在りし官局の名  
 せい(る) 正路、ねほみち、ねほぢ、ただしき、みち  
 せい(る) 世路、よのみち、よのならひ  
 せい(る) 精慮、かくもんじよ  
 せい(る) 名) 井樓、榎樓、やぐら  
 せい(る) 名) 青樓、ぢやうや、あげや、妓樓  
 せい(る) 名) 蒸籠、井樓、飯等を蒸す器  
 せい(る) 世祿、よのとり、だか(世襲の食祿)  
 せい(る) 世論、よのひとのあげつらひ、せげんのひやう、ばん



せいろん(名) 錫蘭(印度國の南の島の名)  
 せいばい(名) 成敗、できるでせぬ、なるならぬ、成不成、又俗  
 (せいばい)ばい、裁判、刑罰  
 せいばい(俗)成敗、刑罰、法場、ひとぎりば  
 せいばつ(名) 征伐、せめうつうつ、せむる  
 せいほう(名) 西方、にしのかた、免  
 せいほう(名) 聲望、はまれ、よきな  
 せいほう(名) 生縛、いひとる、しばる、からめとる  
 せいほう(名) 政法、まつりごと  
 せいほう(名) 性法(天然法と云ふ)、自然法、天法  
 せいほう(名) 性法、天地の理  
 せいほう(名) 製法、こしらへかた  
 せいほう(名) 成法、さだまれるわざ  
 せいほう(名) 税法、ねんぐとりたてかた  
 せいほう(名) 正犯、はつたうにん、ちやうばん  
 せいばん(名) 西蕃、にしのかた、免  
 せいばん(名) 生蕃、未だ王化に歸服せざる野蕃を謂ふ  
 せいにく(名) 生肉、なまのにく、なましし  
 せいにく(名) 贅肉、いぼ、あましし  
 せいほ(他) 生捕、いひとる、いかしてとらへる、生擒  
 せいほ(名) 生母、うみのはは、まごのはは  
 せいほ(名) 歳暮、としのくれ、年末、歳底、年底、また「俗」  
 れのわくもの  
 せいほう(名) 善考、かりやす(植物)  
 せいほん(名) 製本、屋書籍を作る家また人、釘書工、装  
 釘師  
 せいほん(名) 製本師、釘書工、ほんつくり、ほんどぢや

せいへい(副) 生平、つねづね、平生  
 せいへい(名) 精兵、すぐれるつはもの  
 せいへい(名) 生兵、あつて、あたらしきつはもの  
 せいへい(名) 世平、かざりゆみ  
 せいへい(名) 世表、よのほか、世外  
 せいへい(名) 世表、あはす、しめす  
 せいへい(名) 青瓢、ゆふがは(植物)  
 せいへい(名) 世變、よのうつりかはり  
 せいへい(名) 生徒、せしまなびて、書生  
 せいへい(名) 聖徒、耶穌教にて神聖の教師などを謂ふ  
 せいへい(名) 制度、ねきて、のり、さだめ  
 せいへい(名) 正統、しやうとう、ただしきちす(王家等に云  
 ふ)  
 せいとう(名) 井筒、むづつ、るどがは、るどいつつ  
 せいとう(名) 成童、童子の十五才なるを云ふ  
 せいとう(名) 青銅、からかね、青鏡  
 せいとう(名) 青銅子、せに、ねあし  
 せいとう(名) 聖徳天子の御徳  
 せいとう(名) 生得、しやうとく、うまれつき  
 せいとう(名) 他自、整頓、ととのふ、そのふ  
 せいとう(名) 聖知、さとし、かこさ  
 せいとう(名) 稀遲、ただすまふ、ためらふ  
 せいとう(名) 政治、まつりごと  
 せいとう(名) 政治家、世を治むる術に長じたる人  
 せいとう(名) 政治學、政治の理と講究する學

せいぢよ(名) 齊女、せみ(動物)  
 せいぢよ(名) 盛寵、大に寵愛せらるるを謂ふ  
 せいぢよ(名) 聖勅、みことのり(天子の御命)  
 せいぢよ(形) 正直、しやうぢき、なほき、ただしき  
 せいぢよ(名) 正中、ただなか、まんなか  
 せいぢよ(形) 誠忠、ちやうぢき、まめやか  
 せいぢよ(名) 精夷、まごのころ、まごころ  
 せいぢよ(名) 正畫、まひる、日中  
 せいぢよ(名) 征誅、うつ、つみする  
 せいぢよ(名) 青油、綱、りうもん、龍紋、織物の名  
 せいぢよ(名) 精蟲、精液の中に在る虫  
 せいぢよ(名) 筵竹、めとぎ、うらなひだけ(下者が用ふる  
 竹の棒)  
 せいぢよ(名) 製茶、ちやをこしらふる  
 せいぢよ(名) 成長、ひととなる、そだつ  
 せいぢよ(名) 静鎮、しづまる  
 せいぢよ(名) 生理、生物の生活する道理  
 せいぢよ(名) 性理、天理、人道を謂ふ、形而上學  
 せいぢよ(名) 正理、ただしき  
 せいぢよ(名) 整理、ととのふ、まごころ  
 せいぢよ(名) 稅吏、稅關の官吏  
 せいぢよ(名) 生理學、生理を究むる學  
 せいぢよ(名) 聖慮、ねほしめし(天子の)  
 せいぢよ(名) 精力、ちから、いきはひ(身體の)  
 せいぢよ(名) 勢力、いきはひ、ちから  
 せいぢよ(名) 成立、なりたつ、できる  
 せいぢよ(名) 稅率、せいきんのめやす

せいりう(名) 清流、きよきながれ  
 せいりう(名) 青龍、くるまへび(動物)  
 せいりう(名) 征戮、うちほるぼす(賊等を)  
 せいりう(形) 清涼、すずしき、すがすがしき  
 せいりう(形) 凄涼、ものしづか、さびしき、さびれたる  
 せいりう(名) 清涼劑、涼しくする飲物  
 せいりう(名) 井輪、るどがは  
 せいりう(名) 生鱗、いけるうを  
 せいりう(名) 生類、いけるもの、いきもの  
 せいりう(名) 聖恩、天子の御恩恵を謂ふ  
 せいりう(形) 清音、にこりなきことば、よきことば  
 せいりう(形) 静穩、しづか、れたやか、靜寧  
 せいりう(名) 清和、天皇、人皇、第五十六代の帝  
 せいりう(名) 制可、ゆるす、許可(帝王が)  
 せいりう(名) 盛夏、なつざかり、なつのもなか  
 せいりう(名) 聲價、ひやうばん、はまれ  
 せいりう(名) 勢家、いきはひあるいへ、權門  
 せいりう(名) 青蝦、しばえび(動物)  
 せいりう(名) 制誠、いましめ、さとし  
 せいりう(形) 精巧、たくみななる、てぎはよき  
 せいりう(名) 井桁、むげた、るどがは、井欄  
 せいりう(名) 青蒿、かはらにんじん(植物)  
 せいりう(名) 薺蒿、よめな(植物)  
 せいりう(名) 征行、ゆく、又せめゆく  
 せいりう(形) 精好、くはしき、たくみななる



せいかう 精簡よきかな嘉肴  
 せいかう(名) 鵝鴝(動物)  
 せいかうじゆ(名) 青岡樹(植物)  
 せいかく(形) 正確、たしか、かたき、あやまりなき  
 せいかく(形) 正取、ただしき、たしか  
 せいかく(形) 精取、くはしき、たしかなる  
 せいかく(形) 誠懇、まこと、ねんごろ  
 せいかく(名) 清客(梅を云ふ)  
 せいかく(名) 政學(政治の學をいふ)  
 せいがく(名) 星學、はしうらなひ  
 せいがく(名) 税額、ねんぐだか  
 せいがく(名) 星學家星を見て吉凶を占ふ人  
 せいかん(名) 井幹、むげた  
 せいかん(形) 精悍、すぐれたる、かひがひしき  
 せいかん(名) 生肝、さいごも  
 せいかん(形) 清閑、しづか、ものしづか、ねだやか、かんせ  
 せいかん 征韓朝鮮を征伐するを謂ふ  
 せいがん 聖顔(天子の御面を謂ふ、龍顔)  
 せいがん 青眼(愛する目のきを謂ふ)  
 せいかんたう 青乾苔、あをのり(青色の海藻の乾したる者にて食ふ可し)  
 せいかんじ 清閑寺(氏)  
 せいよう(名) 聲譽、はまれ、名譽  
 せいよう(名) 青蠅、くそばひ、あそばひ(動物)  
 せいたい 政體(政府の建て方を謂ふ)  
 せいたい 青苔、あをこけ

せいたい(名) 世態、よのありさま人世の諸現象をいふ  
 せいたい(形) 正大、たもてはれてただしき、ねはやけにて  
 わだかまりなき  
 せいたい(形) 盛大、さかんなる  
 せいたい 聖代(當時の帝王の徳を譽めて其時代を美稱する語)  
 せいだい(名) 世代、よとさまよ  
 せいたか(俗)(形) 身長身のたけの高きを謂ふ  
 せいたう(名) 政黨(一定の主義を政事上に主張する黨派)  
 せいたう(名) 征討、うつ、せめうつ(賊等を)  
 せいたう 正道、ましまち、ねはやけみち  
 せいたう(名) 政道、まつりごと、政治之術  
 せいたう 聖堂、孔子と祭れる堂  
 せいたく 清濁、すみじり、さよきさたなき  
 せいたく 税宅、かりたるいへ、賃居、しやくや  
 せいたく(俗)(名) 贅澤、れごり、贅倭  
 せいたもく(名) 聖多默、さんどめ(本は耶穌の弟子セントトマスより出たる名にて其後國號と成り終に亦其國より來る織物の名となれり、所謂唐棧「たうざん」是なり)  
 せいだす(俗) 出精、勉勵、はげむ努力、つとめる  
 せいたん 正旦、むつぎのついたち正月元日を謂ふ  
 せいたん 聖斷(天子の御決斷を謂ふ)  
 せいだん(名) 政談、せいちばなと政治上の演説などを謂ふ  
 せいだん 清談、清話(俗談ならざる談話を謂ふ)  
 せいだん(名) 說難(帝王に説を容れしむるの難きを謂ふ)

せいだん(名) 斷斷、くひきぎる、かみきぎる  
 せいらん(名) 生靈、いぢもの、いけるもの、合靈  
 せいらん(名) 生聚、たみ(人民物體を謂ふ)  
 せいらん(名) 精靈、たふととところ、すぐれたるところ  
 せいらん(名) 聖靈、みたま、造化神の靈を謂ふ  
 せいらん(名) 政令(政府より出す布告法律の類を謂ふ)  
 せいらん(名) 精勵、つとめ、はげむ、はねをる  
 せいらん(名) 青礪、あそと、あまをいらのとし  
 せいらん(名) 蜻蛉、とんぼ、かげろう(動物)  
 せいらん(名) 蜻蛉、きりぎりす、こうろう(動物)  
 せいらん(名) 齊列、整列、ひとしくならぶ、そろふ  
 せいらん(名) 西曆、西洋の曆を謂ふ  
 せいらん(形) 清麗、けつぱく、ことろさまよき、わだかまりなき  
 せいらん(名) 精鍊、ねりあげる、ねりきた入る  
 せいらん(名) 青蓮色、こんぎきやう(色の名)  
 せいらん 精粗、こまかきあらし、くはしきくはしからぬ  
 せいらん(形) 清楚、さつぱりしたる、しつこからぬ、きれなる  
 せいらん(名) 群鼠、いたち(動物)  
 せいらん(名) 勢揃(出陣の爲に軍勢を集めるといふこと)  
 せいらん 清僧、潔白なる僧  
 せいらん(名) 生憎、あなにく、あやにく  
 せいらん(名) 齋送、もたらせる  
 せいらん 正則、ただしきのり、ただしきみち  
 せいらん(名) 聲譽、はまれ、たより、通信

せいらん(名) 棲息、すむ、をる、やとる  
 せいらん(名) 井側、のぞのそば(俗)のぞがは  
 せいらん(名) 姓族、めうじ、な、うぢ  
 せいらん(名) 税則、租税を取る規則  
 せいらん(名) 生存、いさながら入る  
 せいらん(形) 靖寧、しづか、やすらか  
 せいらん(形) 靜寧、しづか、靜謐、ねだやか  
 せいらん(名) 薺危、よめがはざ、あまぎさやう、みのはな(植物)  
 せいらん(名) 清寧天皇(人皇第二十二代の帝)  
 せいらん(名) 青年、としわかきひと、わかもの、少年  
 せいらん(名) 青年會、わかものよりあひ(少年の集りて知識を交換する會)  
 せいらん(副形) 生來、うまれつき、生得  
 せいらん(形) 清明、さよらか、はがらか  
 せいらん(名) 晴嵐、あらし  
 せいらん(名) 井欄、むげた、むどがは  
 せいらん(名) 生樂、さぼん(植物)  
 せいらん(名) 政務、まつりごと、政事  
 せいらん(名) 成務天皇(人皇第十三代の帝)  
 せいらん(名) 青葙、あざも、(植物)  
 せいらん 晴雨、はれあめ、ひよりよとあめふる  
 せいらん 霽雨、むらしぐれ  
 せいらん 凄雨、あさどめ、あまのあめ  
 せいらん(名) 晴雨計、晴雨儀(天氣を見る器)  
 せいらん(名) 世烏臼、たうは(植物)  
 せいらん(名) 晴鳥珠、くろだま、くろめ



せいらん 青雲、めきぐも、そらのくも(政治海の高位を然か謂ふ)  
 せいらんのことろ(形) 青雲之志名譽心を謂ふ(大望)  
 せいりくわ(形) 靖和、れだやか、やすき、やすらか  
 せいりくわ(名) 歲華、としつき、年華、とし  
 せいりくわ(形) 清華、うつくしき、けつこう  
 せいりくわ 生菓、みづ々わじ、くだもの  
 せいりくわ(名) 西瓜、すいくわ(瓜の名)(植物)  
 せいりくわ 青瓜、あそり、菜瓜、つけり(植物)  
 せいりくわ 聖會、さよきあつまり(神の事に關する集會)  
 せいりくわ 世外、よのほか、出世間  
 せいりくわ(名) 一生、すくも、まじはひ、なりはひ、くちす、まじはひ、なりはひ、くちす、まじはひ、なりはひ、くちす  
 せいりくわ(形) 精確、たしか、まことなるたごい  
 せいりくわ(形) 生獲、うけとる、生擒  
 せいりくわ(名) 青花魚、さば(動物)  
 せいりくわ(名) 誠款、まこと、まごころ  
 せいりくわ(名) 請願、ねがひ(政府への)、ねがひ、ごん  
 せいりくわ(名) 誓願、くわんがけ、ちかひ(神に對して爲る)  
 せいりくわ(名) 稅館、うんじやうしよ(内外へ出入する貨物より稅を取る官署)  
 せいりくわ(名) 青車魚、さんま(動物)  
 せいりくわ 青空、あそら、穹蒼、晴空

せいりん 聖賢(孔子孟子の如き人を云ふ、また清酒濁酒をも然か名く)  
 せいけん(名) 政權、政治を爲すの權力  
 せいけん(名) 生絹、まぎぬ、ねらぬまぎぬ  
 せいけん(形) 精健、すこやか、たつしや、つよき  
 せいけん(名) 制憲、たてて、のり、さだめ  
 せいけん(名) 聲言、いひ、おほい、おほい  
 せいけん(名) 世謔、よのことわざ、よのいひ、ならはし  
 せいけん(名) 誓言、ちかひこと、ちかひ  
 せいけん(名) 制限、かぎり、まじり、かぎる  
 せいけん 贅言、むだこと、無用之語、いらぬことば  
 せいけん(名) 政府、一國の主權者が掌握する政令の府、官府  
 せいけん(名) 生俘、うけとる、とりこにする、生擒  
 せいけん(名) 青鷗、あそり(動物)  
 せいけん(名) 青蚨、せいののははむし(動物)  
 せいけん(名) 贅物、よひのもの、いらぬもの、無用之物、長物  
 せいけん(名) 生物學物の生活する所以を究むる學  
 せいけん(名) 西風、にしかせ、あきかせ  
 せいけん(名) 清風、きよかぜ、すがすがしきかぜ  
 せいけん(名) 腥風、なまぐさかぜ  
 せいけん(名) 盛服、うるはしきころも、みことなるよそはひ、(官人等の)  
 せいけん(名) 齧粉、うちくたく、こなにする、みぢんにする  
 せいけん(名) 聲聞、ひやうばん、きこね、はまれ、又、じやう

せいりん 聖君、ひじりのきみ(皇帝を崇め呼ぶ詞)  
 せいりやう 正陽、陰曆の正月を云ふ  
 せいりやう(名) 青陽、春を謂ふ  
 せいりやう(名) 青楊、かはやなぎ(植物)  
 せいりやう 西洋、歐米諸國を然か云ふ  
 せいりやうがた 西洋形、西洋の物の形に同じきと謂ふ  
 せいりやうがく 西洋學、西洋諸國の學問を謂ふ  
 せいりやう(名) 西洋獨活(植物)  
 せいりやう(名) 西洋布、かなきん(織物の名)  
 せいりやう(名) 西洋服、西洋風の衣服  
 せいりやうし 西洋紙、西洋にて作れる紙  
 せいりやうしゆ 西洋酒、西洋にて作れる酒  
 せいりやく(名) 誓約、ちかひ、やくそく  
 せいりやく(名) 製藥、くすりを作はすること  
 せいりやく(名) 製藥士、くすりをあはすること  
 せいりやく(名) 青盲、あきめくら(眼病の名)  
 せいりやく(名) 生計、まじはひ、くちす、生活  
 せいりやく(名) 世系、よのけい、ついで、のちすぢ  
 せいりやく(形) 清潔、きよき、潔白、わだかまりなき  
 せいりやく 政教、まつりごと、及をしへ、政治宗教  
 せいりやく 聖教、まじはひをしへ、(耶穌教などを然か名く)  
 せいりやく(名) 聖業、天子の事業  
 せいりやく(名) 生業、なりはひ、生活之道、まじはひ、くちす  
 せいりやく(名) 成業、卒業に同じ  
 せいりやく(名) 青莢、葉はないかた(植物)

せいけん 聖賢(孔子孟子の如き人を云ふ、また清酒濁酒をも然か名く)  
 せいけん(名) 政權、政治を爲すの權力  
 せいけん(名) 生絹、まぎぬ、ねらぬまぎぬ  
 せいけん(形) 精健、すこやか、たつしや、つよき  
 せいけん(名) 制憲、たてて、のり、さだめ  
 せいけん(名) 聲言、いひ、おほい、おほい  
 せいけん(名) 世謔、よのことわざ、よのいひ、ならはし  
 せいけん(名) 誓言、ちかひこと、ちかひ  
 せいけん(名) 制限、かぎり、まじり、かぎる  
 せいけん 贅言、むだこと、無用之語、いらぬことば  
 せいけん(名) 政府、一國の主權者が掌握する政令の府、官府  
 せいけん(名) 生俘、うけとる、とりこにする、生擒  
 せいけん(名) 青鷗、あそり(動物)  
 せいけん(名) 青蚨、せいののははむし(動物)  
 せいけん(名) 贅物、よひのもの、いらぬもの、無用之物、長物  
 せいけん(名) 生物學物の生活する所以を究むる學  
 せいけん(名) 西風、にしかせ、あきかせ  
 せいけん(名) 清風、きよかぜ、すがすがしきかぜ  
 せいけん(名) 腥風、なまぐさかぜ  
 せいけん(名) 盛服、うるはしきころも、みことなるよそはひ、(官人等の)  
 せいけん(名) 齧粉、うちくたく、こなにする、みぢんにする  
 せいけん(名) 聲聞、ひやうばん、きこね、はまれ、又、じやう

もんを見よ  
 せいぶん(俗)(名) 精分、いきはひ、ちから(身體の)  
 せいぶん(名) 成分物の成立つ分  
 せいぶん(名) 誓文、ちかひふみ、ちかひがき  
 せいぶん(名) 省悟、さとる、しりぬく  
 せいぶん(名) 正誤、あやまりをただす(文章記録等の)  
 せいぶん(名) 小鱸魚、鱸子(動物)  
 せいぶん(名) 省沽油、みつばら(植物)  
 せいぶん(名) 整骨、はねつき、くじきなほし  
 せいぶん(名) 成功、できあがる、成就  
 せいぶん(名) 井口邊草、ののささ(植物)  
 せいぶん(名) 青紅花、あむらばな(植物)  
 せいぶん(名) 西湖十景、平湖の秋月、蘇堤の春曉、斷橋の殘雪、雷峯の落照、南屏の曉鐘、麴院の風荷、花港の觀魚、柳浪の間鷺、三潭の印月、兩峯の挿雲  
 せいぶん(名) 正鵠、めあて、まごのほし  
 せいぶん(名) 精魂、たましひ、精神  
 せいぶん(名) 精根、さこん、根氣  
 せいぶん(名) 誓言、ちかひこと、ちかひことば  
 せいぶん(名) 成丁、をどな(人となれる者)  
 せいぶん(名) 蜻蛉、とんぼ、あきつむし(動物)  
 せいぶん(名) 井底蛙、ののそこのかはづ(世の中の大きなを知らぬ者を然か呼ぶ)  
 せいぶん(名) 製鐵所、鐵を以て物を製する處を謂ふ  
 せいぶん(名) 聖朝、當代の朝廷を崇め呼ぶ語  
 せいぶん(名) 棲鳥、ねどり、ねぐらにあるどり  
 せいぶん(名) 制條、たて、さだめ

せいぶん(名) 成業、卒業に同じ  
 せいぶん(名) 青莢、葉はないかた(植物)



せいでん(形) 清適(無事閑適なるを謂ふ)  
 せいでん 青天、あををたら、蒼天、蒼穹、青霄  
 せいでん 正殿、たもなるみや、たもてこてん  
 せいでん 青田、あをた、あををしたるた  
 せいでん 井田(田地を井の字の形に區畫して其九分の一を官に取るの事)  
 せいでん(名) 青田石、らふせあ  
 せいでん(名) 青蛙、あをがへる動物  
 せいでん(名) 井蛙之見、せいでんけんしき  
 せいでん(名) 正妻、ほんささ、まことのつま、嫡妻  
 せいでん(名) 制裁、しはい、あつかひ、處分  
 せいでん(名) 精細、こまか、くはしき、つよさ  
 せいでん(名) 精彩、いろどり、光彩、ひかり  
 せいでん(名) 生財、かねをふやす、殖財  
 せいでん(名) 聲罪、つみをひふらす、つみをならす  
 せいでん(名) 制札、たかぶた、高札、榜示、榜文、揭示  
 せいでん(名) 省察、かんがへる、かへりみる  
 せいでん(名) 制札場、ふだのつじ(制札を立てたる場、榜文場)  
 せいでん(名) 生殺之權、いかすころすのちから  
 せいでん(形) 清爽、さほやか、さつぱり  
 せいでん(形) 精壯、ちこやか、たつしや  
 せいでん(形) 清潔、きよめ、みやか  
 せいでん(形) 靚莊、さかんなる、はでやかなる  
 せいでん(名) 酒掃、はききよめ、さうじ  
 せいでん(名) 靚裝、かざり、よそはひ  
 せいでん(形) 膠膜、なまめ、め

せいでん(名) 星霜、とてつき、歲月  
 せいでん(名) 清早、ひきあげ、味爽  
 せいでん(形) 悽愴、いたまじき、かなしき  
 せいでん(名) 青箱、のびしろ、なびすくさ(植物)  
 せいでん(名) 牲巢、いけす  
 せいでん(名) 躑躅、すくもむじ(動物)  
 せいでん(名) 聖像(神佛の像をいふ)  
 せいでん(名) 製造、つくくり、こしらへ、こしらへる、つくる、製作  
 せいでん(名) 正職、ぬすみのもの  
 せいでん(名) 芮草、みつごめ(植物)  
 せいでん(名) 製造所、こしらへるところ、製作場、工場  
 せいでん(名) 井索、つるへなは、るどなは  
 せいでん(名) 生産、なりはひ、生業、又うまるとこと、誕生  
 せいでん(名) 清算、かんぢやうしあげ、かんぢやうすまじ  
 せいでん(名) 製造、つくくり、いだす(物品などを)製造  
 せいでん(名) 製産力(品物を製出する力)  
 せいでん(名) 世紀、じだい、とと(西洋年代にては二百年を然か名く)  
 せいでん(名) 精氣、げんき、いきはひ(精神の)  
 せいでん(名) 精鬼(悪靈の如き者をいふ)  
 せいでん(名) 生氣、いきけるき、いくるちから  
 せいでん(名) 成規、さまり、なだめ  
 せいでん(名) 旌旗、はた、旗、はたはたるし  
 せいでん(名) 青炬、ねにび、燐火  
 せいでん(名) 逝去、まかる、しぬる、物故

せいぎよ 生魚、いきうを、なまぎよ、かな  
 せいぎよ 腥魚、なまぎよを、なまぎよ、かな  
 せいぎよ(する) 他) 制御、制駈、ひきまはす、をさびる、しはする  
 せいぎよ(名) 青魚、にしん(動物)  
 せいぎよ(名) 鱈魚、えそ(魚を、たちがうを動物)  
 せいぎよ(名) 税居、たなかり、借居、しやくやすまひ  
 せいぎよ(名) 青魚胡、めなだ(動物)  
 せいぎよ(名) 青魚鱈、にしんのこ、かづのこ  
 せいぎう 聖躬(天子の御身)  
 せいぎう(名) 青宮、わかみや  
 せいぎう(名) 請求、もとめ、もとむる、要求  
 せいぎやう(名) 生薑、生姜はじかみ、なまじやう(植物)  
 せいぎふ(形) 性急、きみじか、短氣  
 せいぎん(名) 制禁、こはつと、ねきて、さだめ  
 せいぎん(する) 精勤、つとめはびむ、成勤、よくつとめる  
 せいぎん(する) 生擒、いけとる、とりこにする  
 せいぎん(名) 青衿、支那にて秀才の進士を然か謂ふ、秀才を見よ  
 せいぎん(名) 青衿(書生を謂ふ)、青年  
 せいぎん(名) 洒金、なしぢ  
 せいぎん(名) 税銀、ねんぐのかね、税金  
 せいめい(名) 聖諭(天子の御諭)  
 せいめい(名) 性命、いのち  
 せいめい(名) 聲名、ひやうばん、聲譽、聲聞  
 せいめい(形) 姓名、めうじ、及な  
 せいめい(形) 聖明(天子の聰明を稱するに用ふる語)

せいめい(名) 清明(二十四節の一)  
 せいめい(形) 晴明、はれわたれる  
 せいめい(形) 精妙、くはしくたくみななる  
 せいめん 正面、まとも、まむかふ  
 せいめん(名) 生面(新面目を謂ふ)  
 せいめん(名) 生面人、しらぬひと、ちかづきにあらぬひと  
 せいみかく(名) 精密、學化學を謂ふ  
 せいみつ(形) 精密、くわしき、ことこまか、つまびらか  
 せいみやく(名) 靜脈、血の通ふ諸管  
 せいみん(名) 生民、たみ、蒼生、あをひととと、ひやくしやう、人民  
 せいし 聖旨、ねほしめし(天子の)  
 せいし(名) 生齒、うまるとるひと、人口  
 せいし(する) 他) 制止、とどむる、禁止  
 せいし(名) 青史、あををうし(官府の記録本)  
 せいし(名) 姓氏、めうじ、うち  
 せいし(名) 誓詞、ちかひごと、ちかひ  
 せいし(名) 世子、よつぎ(太子を謂ふ)  
 せいし(名) 生絲、きいと、ねらぬきぬいと  
 せいし(名) 鯖子、からすみ  
 せいし 聖時(聖帝の時代をいふ義)  
 せいし(名) 政事、まつりごと、政治  
 せいし(名) 青磁、あをすゑもの  
 せいし(名) 蚶子、ふと、あぶ(動物)  
 せいし(名) 製糸場、いととりば、きぬいととるところ  
 せいし(名) 清書、きよがき



せいせい(名) 聖書、バイブル(耶穌教の經典)  
 せいせい(名) 誓書、ちかひふみ  
 「せいせい」(名) 政所、まんどころ、まつりごと、まんどころ、又れ  
 くがた  
 せいせい(名) 聖所、まよきまんどころ(神宮内の)  
 せいせい(名) 栖處、すみどころ、すみか  
 せいせい(名) 盛暑、なつごころ、あつごころ、あつごころ  
 せいせい(名) 聲色、こゝろ  
 せいせい(名) 靚飾、かざり、まよき  
 せいせい(名) 性質、うまれつき、性情  
 せいせい(名) 正室、ほんむすめ  
 せいせい(名) 青漆、あをうるしぬり  
 せいせい(名) 正實、まこと、眞實  
 せいせい(名) 誠實、まこと、眞實、孚信  
 せいせい(名) 聖日、きよき日(耶穌教にて安息日等を然か稱  
 ぶ)  
 せいせい(名) 西日、しりひ、ゆふひ  
 せいせい(名) 生日、うまれび  
 せいせい(名) 青紫蘭、むらさきあざむき(植物)  
 せいせい(名) 正秋、仲秋を云ふ  
 せいせい(名) 西戎、たしのび、西羌  
 せいせい(名) 齊肅、ただしくそよぶ、つつしむ、みだりな  
 らぬ  
 せいせい(名) 靜肅、しづかしくまじりかゝる、つつしむ  
 せいせい(名) 生寫、うまらうし  
 せいせい(名) 消寫、きりうし、せいせい(名) 消寫

せいせい(名) 精舍、じやうじやうじやう(佛寺)  
 せいせい(名) 清賞、風雅の遊賞を謂ふ  
 せいせい(名) 齊唱、つれづれ、同唱、合唱  
 せいせい(名) 井匠、いぢやう  
 せいせい(名) 懐槍、ものさびしき、かなしき  
 せいせい(名) 聖上、天皇を謂ふ  
 せいせい(名) 性情、こころもさ、こころ  
 せいせい(名) 清淨、きよき、きよき  
 せいせい(名) 西淨、雪隠を云ふ  
 せいせい(名) 稅餉、みつき、せき  
 せいせい(名) 脆弱、もろき、よわき  
 せいせい(名) 世襲、よよろけつぐ、だいだいの  
 せいせい(名) 制聲、警蹕之聲、王侯の通行する時に路人  
 を靜まり肅しむる爲に發する聲  
 せいせい(名) 正式、ほんしき  
 せいせい(名) 聖主、帝王を尊稱して言ふ詞  
 せいせい(名) 清酒、すみぎけ、こしたるさけ  
 せいせい(名) 星宿、ほし、ほしのやどり(二十八宿の如  
 き者)  
 せいせい(名) 精熟、たくみになる、じやうずにな  
 る  
 せいせい(名) 星宿菜、ぬまどらのを、星宿草、こく  
 せいせい(名) 西施舌、みるがひ(動物)  
 せいせい(名) 精神、こころ、こころのちからばたらき  
 せいせい(名) 誠心、まごころ  
 せいせい(名) 誠信、まごころ、眞實

せいせい(名) 生長、うまれび  
 せいせい(名) 省愼、たしなむ、つつしむ  
 せいせい(名) 星辰、ほし  
 せいせい(名) 精進、しやうじん、はげみすすむこと、又なまぐ  
 さものだち  
 せいせい(名) 世臣、ふだいのけらい、まよのけらい  
 せいせい(名) 聖人、ひじり(人の最も勝れたる者にて孔子の  
 如きを謂ふ)  
 せいせい(名) 正人、ただしきひと  
 せいせい(名) 成人、れとな、又まつたきひと  
 せいせい(名) 征人、いくさびと、ゆくひと(戦争等に)  
 せいせい(名) 清越、きよらか、うるはしき(歌聲などに云  
 ふ)  
 せいせい(名) 精液、交接の時に男子が發する液  
 せいせい(名) 騁援、かせい、たすけ、ちからぞ(戦争等の)  
 せいせい(名) 正圓、まんまる、まつたくまるき  
 せいせい(名) 井垣、いぢがた  
 せいせい(名) 青莢、れいのこころ(植物)  
 せいせい(名) 精美、うるはしき  
 せいせい(名) 整備、もとのひそなはる、ごころ  
 せいせい(名) 靜論、しづか、ただやか  
 せいせい(名) 短人、せびく、ちさき、せごま、矮人  
 せいせい(名) 生皮消、いけ(植物)  
 せいせい(名) 清貧、きよき、ついで(貧にして潔白なるを謂  
 ふ)  
 せいせい(名) 精敏、ものにはばから  
 せいせい(名) 青緋、あををきてせに

せいせい(名) 井目、園基に言ふ所  
 せいせい(名) 誓文、ちかひふみ、盟書、盟文  
 せいせい(名) 聲問、ねとづれ、たより、消息  
 せいせい(名) 聖門、聖人孔子等の學を謂ふ  
 せいせい(名) 盛世、さかんなるよ  
 せいせい(名) 正精、くはしき、正氣  
 せいせい(名) 齊聲、つれづれ、齊唱  
 せいせい(名) 精製、よきこころ、上製  
 せいせい(名) 誠精、まごころ、まめやかなること  
 せいせい(名) 菁菁、あををわを  
 せいせい(名) 萋萋、草の茂げれる貌  
 せいせい(名) 井井、つらなる、ごころ  
 せいせい(名) 栖栖、いとまなき、いそがはしき  
 せいせい(名) 悽悽、かなしき、なげく、ものさびしくれ  
 む  
 せいせい(名) 凄清、ものさびしげにきよらかなる、秋色  
 などに重に云ふ  
 せいせい(名) 征西、しをたひらげる  
 せいせい(名) 精精、をこたらず、できるだけ  
 せいせい(名) 征稅、うんじやう、せいせい(名) みつぎ  
 せいせい(名) 齋齋、齋壇、いりむ、にせりむて  
 せいせい(名) 嗚嗚、喘息、ある人の喉の聲  
 せいせい(名) 正正、堂堂(威儀さかんにして正し























せうてはら(名) 招子牌、まひごふた  
 せうてん(名) 硝子燭、びんぎやまびん、みらそこ  
 せうぢぢやう(名) 燒戸場、やまば  
 せうぢぢやう(名) 詔書をよせがき、みこものりがき、勅書  
 せうぢぢやう(名) 抄書、ぬきまがき  
 せうぢぢやう(名) 小量、二十四節の二  
 せうぢぢやう(名) 燒松、たらしまつ、松明、炬火、つらまつ  
 せうぢぢやう(名) 少食、しやくすくなま、くちやくこすくなま  
 せうぢぢやう(名) 宵燭、はたる、燈(動物)  
 せうぢぢやう(名) 鑼色、びびらう  
 せうぢぢやう(名) 燒失、やけうせる、やけてなくなる  
 せうぢぢやう(形) 蕭瑟、秋風の寒き貌  
 せうぢぢやう(形) 蕭條、はげむ、うれる  
 せうぢぢやう(名) 小銃、こいっし、ちんちんていし  
 せうぢぢやう(名) 小舎、こや、ちんちんていし  
 せうぢぢやう(形) 瀟灑、しやれたる、ふうりうなま、まじはり  
 せうぢぢやう(他) 抄寫、ぬきまがき、ぬきまがき  
 せうぢぢやう(名) 少將、武官の名にして中將の下に位す  
 せうぢぢやう(名) 蕭牆、かき、かきね、へら  
 せうぢぢやう(名) 霄壤、天地相異なる、甚だしき用ふ  
 せうぢぢやう(名) 招狀、まねまふ、まねまふてい  
 せうぢぢやう(名) 詭譎、せむらひ、なまめ  
 せうぢぢやう(名) 詭譎、せむらひ、なまめ  
 せうぢぢやう(名) 銷鑠、かきす、金を、かきす  
 せうぢぢやう(名) 召集、めしめつめる、よびめつめる  
 せうぢぢやう(名) 酬集、よびめつめる、一揆等の

せうぢぢやう(名) 紹興、ひきつた、もををつた、つた  
 せうぢぢやう(名) 抄襲、ぬきまがき、他人の書より、ぬきまがき  
 せうぢぢやう(名) 椒酒、元旦に飲む酒、屠蘇酒  
 せうぢぢやう(名) 抄聚、ぬきまがき  
 せうぢぢやう(名) 小量、二十四節の二  
 せうぢぢやう(名) 抄出、ぬきまがき、ぬきまがき  
 せうぢぢやう(名) 小春、こはる、二十四節の二  
 せうぢぢやう(名) 小心、こころをちひさくする、注意、謹慎、つし  
 せうぢぢやう(名) 小身、こやし、ちひさき、ちひさきからた  
 せうぢぢやう(名) 焦心、こころをちひさくする、こころをちひさく  
 せうぢぢやう(名) 小人、こやし、ちひさき、重に心術の卑野なるを  
 せうぢぢやう(名) 樵人、そやし、ちひさき、ちひさき  
 せうぢぢやう(名) 消盡、ちひさき、ちひさき  
 せうぢぢやう(名) 逍遙、ちひさき、ちひさき  
 せうぢぢやう(名) 遊歩  
 せうぢぢやう(名) 宵宴、よあそび  
 せうぢぢやう(名) 少馬、ちひさき、ちひさき  
 せうぢぢやう(名) 笑露花、こころをちひさくする、植物  
 せうぢぢやう(名) 消炎劑、ぬきまがき  
 せうぢぢやう(名) 鵲鷲、かきす、かきす(動物)  
 せうぢぢやう(名) 焦眉、ぬきまがき、危急の迫るをさか

せうび(名) 雉尾琴の一名  
 せうひつ(名) 少彌、彈正盛の次官  
 せうもん(名) 誰門、もんらのうのやうら  
 せうせ(代名詞) 小生、わたくし、自らの謙稱  
 せうせ(小成、すこしばかりであること) 未だ大成に至らぬを謂ふ  
 せうせ(小星、細君、つば)  
 せうせ(照星、すりわり) 鐵砲に設けたる者、ねらひ  
 せうせ(招請、こひまねく)  
 せうせ(小勢、すこしのつはもの、小軍)  
 せうせ(小西湖、不忍池の支那風の名)  
 せうせ(小説、つくりはなし、神史、くちんちんてい)  
 せうせ(小量、二十四節の二)  
 せうせ(饒舌、くちまめなること、くちまめはなすこと、  
 ちやんちやんち)  
 せうせ(小説家、神史小説を作る人、くちんちんてい  
 づくり)  
 せうせ(少小、わかき、こすくなくなま)  
 せうせ(招名、まねまふ)  
 せうせ(蕭蕭、さびしき、ものしづかに)  
 せうせ(蠟燭、あしたか、くちんちんてい)  
 せうせ(硝石、けんせうつち) 火薬を製するに用ふ  
 せうせ(硝責、せめる、とがめる)  
 せうせ(小戦、こせりあひ)  
 せうせ(哨船、てんせ、はしけふね)

せうせ(鈔選、ぬきまがき、ちひさき)  
 せうせ(詔宣、みこものり、ねはせ、帝王の)  
 せうせ(小選、ちひさき、ちひさき)  
 せうせ(昭然、あきらかに、あは、ちひさき)  
 せうせ(蕭然、ものしづかに、さびしき、ちひさき)  
 せうせ(憔悴、やつれる、ちひさき、ちひさき)  
 せうせ(小便、いばり、小便)  
 せうせ(小數、一以下の數を云ふ)  
 せうせ(少數、寡なき數にて多數に對す)  
 せうせ(妹尾、瀬尾、氏)  
 せうせ(急いそぐ、促)  
 せうせ(堰、せきとめる、河水を、ちひさき、塞)  
 せうせ(大鱸魚、動物)  
 せうせ(開、かがやき、ちひさき)  
 せうせ(施藥、くすりをはなす)  
 せうせ(施米、ほごこし)  
 せうせ(追薄、追、追逼、ちかくよりつく、脅迫、威迫、促  
 迫、ねとせせまる)  
 せうせ(狹陝、褊隘、ひろからぬ)  
 せうせ(小量、小器、小膽、ちひさき、ちひさき)  
 せうせ(世間、よのなか、世上)  
 せうせ(國戸、誘口、ひとれ、くつわ)  
 せうせ(狹邪子、よのなか、しらす、ねはこ)  
 せうせ(妾、れもひもの、めかけ、傍妻、そばめ、てかけ、又  
 婦人自ら稱するの謙詞)  
 せうせ(畝歩、田畠、廣狭、長短の數)  
 せうせ(捷報、かちんちんてい、せ勝報)

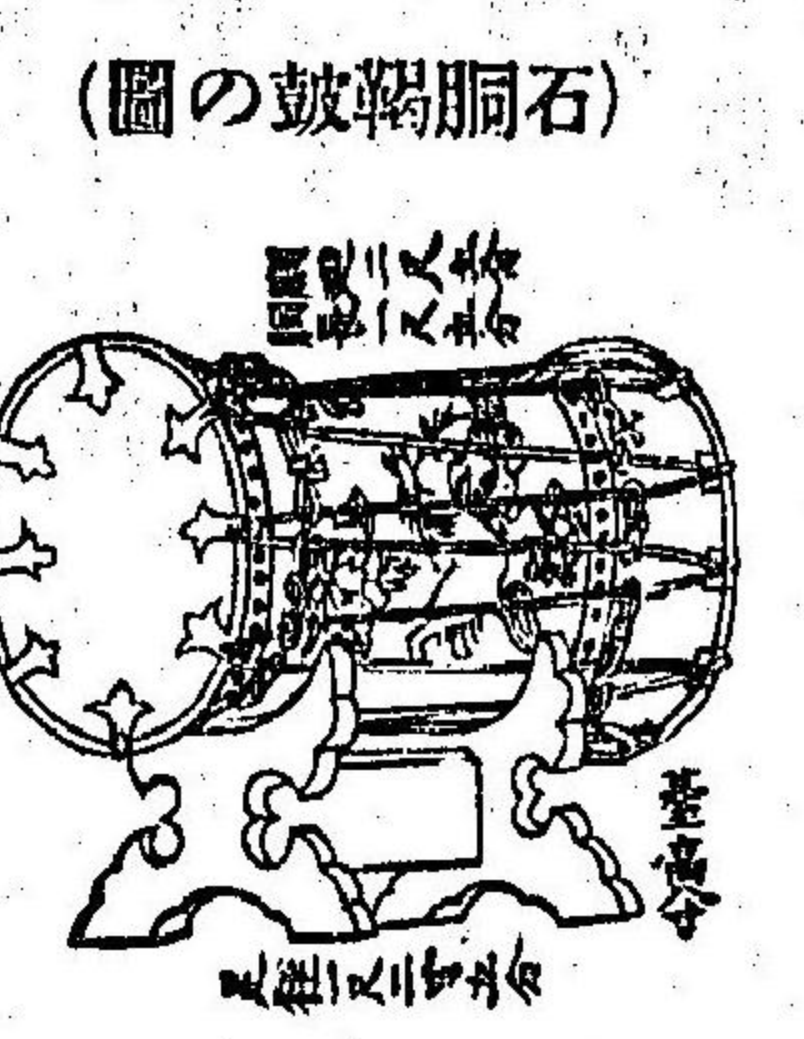


せふはく「する」(自) 懼怕をのきたる  
 せふは 捷歩はやわしはやわゆみ  
 せふり「する」(自) 踞履ふむ踐踏  
 せふり「する」(他) 變理やはらぎとこのふ調和  
 せふか「形」 澗浴せまねきしめわたるゆきわたる  
 せふく「する」(自) 懼懼れされる、たぢる  
 せふく「する」(自) 懼懼れする、たぢる  
 せふまら「名」 塵毛、まつげ(目の中の毛)  
 せふけい「名」 捷徑、ちかみち、はやみち  
 せふけふ「する」(自) 懼怯、たぢる、たぢれる  
 せふふ「する」(自) 懼怖、たぢる  
 せふふく「名」 妾腹、めかけばら(妾の腹より生れたるを謂ふ)  
 せふふく「する」(自) 豐服、たぢる、たぢる  
 せふふく「する」(自) 豐伏、たぢる、たぢる、たぢる、たぢる  
 せふこう「する」(自) 變婦、やはらぐ、とこのふ  
 せふき「する」(自) 懼慄、そののきたる  
 せふみ「名」 瀬踏(川の淺深を試むる事)  
 せふし「名」 鎌子、くさね  
 せふじょう「する」(自) 購賤、あををふむ  
 せふじつ 淡日(旬日即ち十日を謂ふ)  
 せふしふ「する」(自) 懼懼、たぢる、たぢる  
 せふじゆ「自」 購購、しやへる、くちかすねはき  
 せふじん「する」(自) 購購、しやへる、くちかすねはき  
 せふじん「名」 渉人、わたしもり、ふなわたしびと  
 せふもく「する」(自) 購購、ごもりてすすまぬ(言が)  
 せふせき「名」 屍骨、まはた

せふせん「名」 摺扇、あふぎ、たたみあふぎ  
 せふすむてう「名」 涉水鳥(水の淺き所を歩みて餌を拾ふ鳥)  
 せこ「名」 勢子、列卒、かりこ、かりたてにん  
 せこま「名」 侏儒、矮子、ひさ、ちさこ  
 せこ「名」 世才、世事に長ずるの才  
 せせき 瀬崎氏  
 せき「名」 關、せきしよ(國境要所等に設けて通行人をとりしらる處)  
 せき 關氏  
 せき「名」 籍にんべつ、戸籍  
 せき「名」 席むしろ、すわりどころ  
 せき「名」 夕ゆふべ、よひ  
 せき「名」 堰堤防(河に設けて水を塞ぎ止むる者)  
 せき「名」 咳嗽、咳しはふき(喉より急に出る息)  
 せき「名」 脊せな  
 せき「名」 聲(支那の俗元日門上に虎頭を畫き聲字を書して瘧疫を防ぐ)  
 せき「名」 石衣、こけ、あをみどり(植物)  
 せき「名」 積意、つもるれもひ  
 せき「名」 石葦、石蘭(石皮、いはがしは、いはでけ、ひとつば植物)  
 せき「名」 塞入、堰入、せきこむ(水を)  
 せき「名」 尺一符、尺一書(支那にて詔書を謂ふ)  
 せき「名」 石油、せきたん、わぶら  
 せき「名」 威震、うれへ、なげき

せせらん 石印、しのはん  
 せせら「名」 石罅、つはふき(植物)  
 せせら「名」 斥論、しほひかた  
 せせら「名」 石籠、じやかど  
 せせは「名」 石波、いはか(植物)  
 せせは「名」 石鬚、烏菲麥門冬の類(植物)  
 せせはら「名」 咳嗽、響咳、せせ、こわづくり  
 せせはら「する」(他) 釋放、ゆるす、とぢはなす  
 せせはら「名」 石砲、いしや  
 せせはら「名」 石世、いせすき(植物)  
 せせはら「名」 石柙、いしは(植物)  
 せせはく「形」 瘠薄、やせたる(土に云ふ)  
 せせはく「形」 寂寞、ものさびしき、しうか、つれづれ  
 せせはん「名」 石帆、いはがし(植物)  
 せせはん「名」 夕飯、ゆふけ、ゆふめし  
 せせはん「名」 赤飯、こはめし  
 せせはん「名」 石板、石盤、いしいた  
 せせはん「名」 石板書、せせはん  
 せせはん「名」 石盤筆、いしばん  
 せせはん「名」 石班魚、いしばん、うぐい、あひなめ(動物)  
 せせばん「せき」(名) 石盤石(石盤を作る石)  
 せせばん「名」 責任、せめ義務  
 せせばん「名」 夕暮、ゆふぐれ、ひくれ  
 せせばん「名」 夕下、ゆふうらゆふけ  
 せせばん「名」 石本、いしもと  
 せせばん「名」 射斃、いたぶ、いしとす

せせらん「名」 石罅、ちひがひ、ひささらがひ(動物)  
 せせらん「名」 赤電子、たまづき(植物)  
 せせらん「名」 石壁、いしがき  
 せせらん「名」 瀉土、あかつち  
 せせらん「名」 赤土、あかつち  
 せせらん「名」 尺度、しやくど、ものさし  
 せせらん「名」 石響、いしゆみ  
 せせらん「名」 瘠土、やせつち、瘠地  
 せせらん「名」 關取、最手(はて)、すまふがしら  
 せせらん「名」 石洞、いしや、はらわな  
 せせらん「名」 石燈、いしだん  
 せせらん「名」 楨桐、とうざり(植物)  
 せせらん「名」 赤銅、あかがね  
 せせらん「名」 石銅  
 鞀鼓、樂器、此圖なるは  
 大和國法隆寺の所藏  
 せせらん「名」 尺、尺、てが  
 み、ふみ  
 せせらん「名」 碩德、たほいな  
 るとく(大徳)  
 せせらん「名」 赤禿山、あ  
 かはげやま  
 せせらん「名」 堰止、ふさぎとめる(水を)  
 せせらん「名」 瘠地、やせち、礫地、あじぎち  
 せせらん「名」 石地、いしぢ、いしつち  
 せせらん「名」 尺地、すこしのとち、わづかのとち  
 せせらん「名」 赤地利、つるそば(植物)



















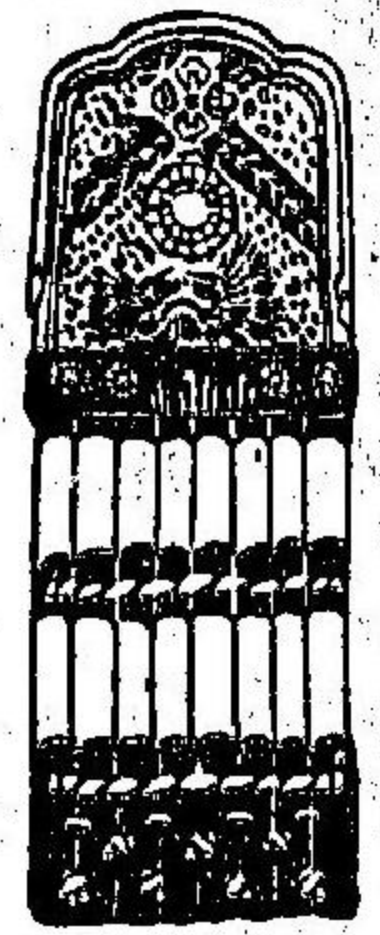


せんか(名) 線蝦、あみちひさきま(動物)  
 せんか(名) 扇架、あふぎかけ  
 せんか(名) 船歌、ふなうた  
 せんか 賤價、やすね、やすさあたひ  
 せんが 千賀(氏)  
 せんか 全家、いへぢう、蘭家  
 せんかい(名) 織芥、ちり、すこしばかり  
 せんかいぎ(名) 泉海魚、うなぎ(動物)  
 せんかた 詮方、爲方、しかた、せんすべ  
 せんかたなき 無詮方、無爲方、せんすべなき、しかたなき  
 せんから(名) 駿(動物)  
 せんから(名) 剪夏羅、ふしぐろ(植物)  
 せんかう(名) 先考、なまぢちち父  
 せんかう(名) 踐行、ふみねこなふ、とげる、履行  
 せんかう(名) 踐行、すあし、はだし、かちはだし  
 せんかう 潜幸、しのびゆき(天子の)  
 せんかう(名) 線香、炷香、たきもの  
 せんかう(名) 先蒿、がまき(植物)  
 せんかう(名) 銚衝、はかり  
 せんかう(形) 鮮好、あざやか  
 せんかう(名) 瞻仰、あふぎみる、みあぐる  
 せんかう 船號、ふねのな、ふなじるし  
 せんかうはうべん 善巧方便、たくみなるてだて(佛道にて人を救ふの方便を然か云ふ)  
 せんかうたて(名) 線香立、線香を焚く器  
 せんかうしや 先行者、さきにゆくもの  
 せんかく(名) 先覺、さきにまなべるひと、先進

せんかく(名) 仙客、羽客、仙人を謂ふ  
 せんかく 淺學、あさきがくもん  
 せんかく(名) 禪學、禪宗の學  
 せんかふ(名) 前甲、むねあて  
 せんかふ(名) 禪問、太閤の剃髮せる者の稱  
 せんかん(名) 船艦、ふね  
 せんかん(名) 戦艦、いくさふね、軍艦  
 せんかん(名) 箭鋒、やがら  
 せんかん(名) 扇眼、あふぎのかなめ  
 せんかん(名) 箭眼、やがら  
 せんかん 川岸、かはぎし、かし  
 せんや(名) 羨餘、あまり、よぶん、よけい、衍餘  
 せんやう(名) 情備、やどふ、かかへる  
 せんた(名) 船蛇、にしきへ(動物)  
 せんたい 船隊、ふなて、ふないくさ  
 せんたい 千態、いろいろのかたち  
 せんたい(名) 蘇苔、こけ(植物)  
 せんたい(名) 先代、さきのよ、前代  
 せんたい(名) 闡提、梵語唐に翻して不信と云ふ佛法を信せざる者をいふ  
 せんたい 全體、そうたい、まる  
 せんたい(名) 前代、まへのよ、前世  
 せんたい(名) 野決明(植物)  
 せんたい(名) 前代未開、まへのよにはさきればぬ、いまだききたることなき  
 せんたい(名) 仙臺、平陸前國出す所の精好の袴地  
 せんたつ(名) 先達、宗教信者等の先導者

せんたつ(名) 占奪、しめとる、うばふ  
 せんたつ(名) 占奪、しめとる、うばふ  
 せんたつ(俗) 先達、さきごころ、まへに  
 せんた(名) 膳棚、度格、碗碟厨、ものだな  
 せんた(名) 施陀羅、た(梵語唐に翻して屠兒を謂ふ)  
 せんた(名) 剪刀、はさみ、ものたち  
 せんた(名) 織刀、こがたな小刀  
 せんた(名) 洗湯、ゆや、ふろば  
 せんた(名) 踐倒、ふみたふす  
 せんた(名) 先導、さきだち、あんないしや  
 せんた(名) 仙道、仙人の道  
 せんた(名) 善道、よきみち  
 せんた(名) 剪刀、はさみにがな(植物)  
 せんた(名) 剪刀、はさみにがな(植物)  
 せんた(名) 閃刀紙、えびすがみ  
 せんた(名) 選擇、選擇、棟樑、えらぶ、えら  
 せんた(名) 洗濯、あらひこそぎ(衣服等の)  
 せんた(名) 洗濯、あらひこそぎ(衣服等の)  
 せんた(名) 然諾、うけひくこと、うけがひ  
 せんた(名) 洗濯盤、すすぎたらい  
 せんた(名) 洗濯屋、洗衣者、洗衣師、あらひものし  
 せんた(名) 洗濯屋、洗衣者、洗衣師、あらひものし  
 せんた(名) 洗濯、あらひこそぎ(衣服等の)  
 せんた(名) 洗濯、あらひこそぎ(衣服等の)  
 せんた(名) 淺短、あさはか  
 せんた(名) 剪斷、はさみきる、きりたつ  
 せんた(名) 占斷、うらなふ、うらなひする  
 せんた(名) 梅、棟樑、山棟、檀香、苦楝(香水にて紫白赤)

の異あり(植物)  
 せんた(名) 板千旦、板鏡の胸當  
 の第二の板、此圖なるは武藏國多摩郡  
 御藏權現社藏  
 せんた(名) 鬼針草(植物)  
 せんた(名) 先例、まへのしきたり、先規、古格  
 せんた(名) 洗禮、耶穌教の禮式  
 せんた(名) 仙靈皮、さちのかは  
 せんた(名) 扇劣、つたなき、扇劣  
 せんた(名) 剪鏡、きんちやくきり  
 せんた(名) 踐位、くらゐにつくこと  
 せんた(名) 船蛆、ふなむし(動物)  
 せんた(名) 先祖、とほつたや、父祖  
 せんた(名) 箭窓、やがら  
 せんた(名) 髯、まつ(松の異名)  
 せんた(名) 禪僧、しゆつけ、僧侶  
 せんた(名) 千僧供養、僧侶を多く招きて饗應する事  
 せんた(名) 喘息病の名  
 せんた(名) 川續斷、をどりこさ(植物)  
 せんた(名) 專念、いちづにれもふれもひこも  
 せんた(名) 前年、まへのとし、去年  
 せんた(名) 朱蕉(植物)  
 せんた(名) 千年支、いぬよもぎ(植物)



板千旦(梅)



せんねんじょう(名) 千年松、かうやまんねん、されまつ  
 (植物)  
 せんなりほほづき(名) 苦蕒、くさのな植物  
 せんなりへうたん(名) 千生飄、天生一寸小胡蘆、せんなり  
 ふく(植物)  
 せんなりなすび(名) 龍葵、植物  
 せんなき(形) 無詮、えきなき、つまらぬ  
 せんらふく(名) 織羅、植物  
 せんむ 先務、さきのつとめ、第一の務  
 せんむ 専務、もつぱらのつとめ  
 せんむ(名) 占夢、ゆめはんじ、圓夢、ゆめあはせ  
 せんら(名) 單于、匈奴の君の稱  
 せんらづ(名) 川鳥頭、植物  
 せんらん(名) 船聲、ふねのよひ、ふなよひ  
 せんらのつな(名) 縛、善繩、ひつぎなは、柘の車を引く索  
 せんらのう(名) 剪秋羅、植物  
 せんらのう 全能、十全の能力、かくるどころなきちから、萬  
 能  
 せんく(名) 船胸、へさき、船の前頭  
 せんく(名) 先驅、先駈、さきのり、前驅  
 せんく(形) 顯愚、れろか、かしてからぬ  
 せんぐわん(形) 顯頑、わげわからず、れろか  
 せんぐりに(副) 先練、じゆんぐりに  
 せんくわ(名) 旋花、はまひるがは植物  
 せんくわ 善果、よきむくし  
 せんくわい(する) 全快、まつたくいゆる、全愈、治癒、なほ  
 る病が)

せんくわてんわう 宣化天皇、人皇第廿八代の帝  
 せんくつ(名) 仙窟、せんにんのすみか  
 せんくづ(名) 鍮屑、やすりくづ  
 せんくつさい(名) 千屈菜、みそはぎ、植物  
 せんぐう(名) 遷宮、みやうつし、神を新宮に遷す事  
 せんくん 先君、さきのきみ  
 せんや 先夜、さきのよ、まへのよる  
 せんや 前夜、まへのよ、ゆふべ  
 せんやく(名) 洗藥、あらひやくすり  
 せんやく(名) 煎藥、せんじやくすり、湯藥  
 せんやく(形) 嬋約、たをやめ、あてやか  
 せんまい(名) 饌米、洗米、神に供ふる米を言ふ  
 せんまい(名) 發條、器械の中のはねあがる具  
 せんまい(名) 被紫、紫、強脊、扶筋、植物  
 せんまう(名) 譚妄、うはこと、譚語  
 せんまうちう(名) 旋毛、蝨肉の中に居る蟲、動物  
 せんげ 宣下、みことごのりたはせこと、天子の  
 せんげ(名) 遷化、僧侶の死を云ふ、涅槃、圓寂、飯真、飯寂、  
 滅度  
 せんげ 禪家、佛教の禪宗派を云ふ  
 せんげいたう(名) 尖形糖、ほうごたう  
 せんげつ 鮮血、なまぢ、いさぢ  
 せんげつ(形) 鮮潔、しんせきよ  
 せんげつ 先月、さきのつき、あとのつき、前月  
 せんけう(名) 船橋、ふなばし、ふねともてつくれるはし  
 せんけうじ(名) 宣教師、耶穌宗を傳へ弘むる者の稱  
 せんげふ 專業、もつぱらするなりはひ、専門

せんけん(名) 先見、さきのみとみ、みこし  
 せんけん 淺見、あさきかんがへ  
 せんけん(形) 嬋娟、嬋妍、たをやか、うるはしき、うつくし  
 き  
 せんげん(する) 他 宣言、いひのべる  
 せんげん 全權、十分の權力との義  
 せんげん 前言、まへにいへることば  
 せんげん 善言、よきことば  
 せんげんこうじ(名) 全權公使、全權を帯びて外國に使う  
 者(の稱)  
 せんふ(名) 鍔布、せにかね  
 せんふ(名) 戰斧、いくさの(戰爭)用ふる斧  
 せんふ(する) 宣布、ふれしめす、のべつたへる  
 せんふ(名) 延胡索、つよて植物  
 せんふ(名) 膳夫、かしはで、れうりにん  
 せんふ 前夫、したを  
 せんふ 全部、全篇、書籍の首尾、物を云ふ  
 せんふ(名) 膳部、くひもの  
 せんぶ(名) 胡黃連、たうやく、植物  
 せんぶ(名) 旋風、まひかせ、つむじかせ  
 せんぶく 鮮服、わたらしきもの  
 せんぶく(する) 自 潜伏、かくれふす、ひそむ  
 せんぶくくわ(名) 蔭桐花、くちなしのはな、植物  
 せんぶくけ(名) 旋覆花、たぐるま、かまのつぼ、てんがい  
 ばな(植物)  
 せんぶん 前文、まへれきがき、まへのぶん  
 せんこ(名) 仙帖、けら(動物)

せんこ(名) 船庫、ふなぐら  
 せんこ(名) 鮮戸、うをうり、さかなや  
 せんこ(名) 譚語、うはこと、そごご(熱病人等の)  
 せんこ(名) 染戸、かうや、そめものや  
 せんこ 前胡、うたな、みつば、たにせり(植物)  
 せんこ 前後、まへうしろ、あとさき  
 せんこ 善後のちをよくする(後日の爲を圖るを謂ふ)  
 せんこつ(名) 川骨、かうほね(植物)  
 せんこつ(名) 扇骨、あふぎのほね  
 せんこう 先公、さきのきみ、先主  
 せんこう(名) 川后、かはのかみ、河伯  
 せんこう 淺紅、うすくれなる、うすあか  
 せんこう(名) 戰功、いくさのてがら  
 せんこう(名) 精工、いんげんし、はんはり  
 せんこう 先後、あとさき、先后  
 せんこく(名) 一する(他) 宣告、さばき、まうしわたし、いひ  
 わたす(罪案等を)  
 せんこく 先刻、さきに、まへかた  
 せんこく 戰國、みだれぐに、亂國、いくさあるくに  
 せんこく 仙石、氏  
 せんこく 全國、くにぢう  
 せんこくどほし(名) 千解、颯、颯、千解、節、たうみ  
 せんこくまめ(名) 鵲豆、植物  
 せんこくふね(名) 千解船、巨舸、ねはふね(和船の大なる  
 者を謂ふ)  
 せんこくぶん(名) 宣告文、いひわたしふみ(刑の)  
 せんこふ 善業、よきわざ







せんじよ(名) 蟾蜍、ひきがへる(動物)  
 せんじよ(名) 先蹤、まへのあき、さきのあき  
 せんじよ(名) 旋踵、くびすをめぐらす(暫時の義に譬へ用ふ)  
 せんじよ(名) 前乗、さきのり  
 せんじたう(名) 剪枝刀、かりこみばさみ  
 せんじたう(名) 洗兒湯、うぶゆ  
 せんじたう(名) 煎出、にだす(藥等を)  
 せんじつ(名) 箭室、やなぐひ、えびら  
 せんじつ(名) 霏濕、しめる、ぬれる  
 せんじつ(名) 痂疾、しもかせ  
 せんじつ(名) 先日、さきのひ  
 せんじつ(名) 前日、まへのひ  
 せんじつ(名) 煎詰、につめる(藥等を)  
 せんじう(名) 千秋、千年を謂ひて長き義に用ふ  
 せんじう(名) 千秋、ちあき(氏)  
 せんじう(名) 洗帚、たわし  
 せんじう(名) 川狩、かはがり  
 せんじう(名) 薦羞、くひものをすすめる(神明などに)  
 せんじう(名) 専修、もつばらをもむる(專一に學ぶ)  
 せんじう(名) 剪絨、びらう  
 せんじう(名) 躑躅、ふみにじる、蹂躪、ふむ  
 せんじう(名) 禪宗、佛教の一宗派にして佛心宗と稱す  
 せんじう(名) 剪秋羅、ねぐらせんのお植物  
 せんじう(名) 千秋樂、盤渉調の樂の名、俗に物事の終りを然か謂ふ  
 せんじう(名) 禪宗五派(臨濟、雲門、曹洞、沩仰、法眼)

せんじや(副) 先者、さきに、まへかた  
 せんじや(名) 撰者、たくしや、つくりて、かきて(書等の)  
 せんじや(名) 織沙、いさご、こまかきすな  
 せんじや(名) 鍍車、ろくろ(細工の具)  
 せんじや(名) 善者、よきひと  
 せんじや(名) 蝸蛇、たはへび、にしきへび(動物)  
 せんじや(名) 借上、かみをしのぐ、かみをないがしろにする  
 せんじや(名) 旋匠、ひきものじ、ろくろじ  
 せんじや(名) 船橋、はばしら  
 せんじや(名) 船將、ふなをさ、ふねのかしら  
 せんじや(名) 潜商、ははんあきうど、むぐりあきうど  
 せんじや(名) 磚牆、ついで、ねり  
 せんじや(名) 戰狀、いくさのありさま  
 せんじや(名) 禪讓、ゆづること、ゆづり(帝位を他の人に與ふる事)  
 せんじや(名) 占城米、をかほ植物  
 せんじやく(名) 疝積病の名、せんき  
 せんじやく(形) 熾弱、たをやか、かよわき、かほそ(女に云ふ)  
 せんじやく(名) 前借、さきがり、まへがり  
 せんじやく(名) 千差萬別、いろいろにちがふ、たのれのことなる  
 せんじやく(名) 先主、まへのあるじ、さきのきみ  
 せんじやく(名) 先手、さきで、さきだち  
 せんじやく(名) 船首、ふねのへき、みよこ、へき

せんじゆ(名) 選取、えらみとる、えりぬく  
 せんじゆ(名) 霰酒、あられざけ  
 せんじゆ(名) 穿出、はりだす、うがちだす  
 せんじゆ(名) 選出、えりだす、えらみだす  
 せんじゆ(名) 仙術、仙人の行ふ術を云ふ  
 せんじゆ(名) 撰述、つくる、あみだす(書文等を)  
 せんじゆ(名) 船宿、ふなやど  
 せんじゆ(名) 剪春羅、がんび植物  
 せんじゆ(名) 千字文、周興嗣の作れる千字の書  
 せんじゆ(名) 扇子、せんせう植物  
 せんじゆ(名) 淺深、あさふかき(水の)  
 せんじゆ(名) 先進、さきにすすむひと  
 せんじゆ(名) 借債、かみをねかす(長上を凌ぐを謂ふ)  
 せんじん(名) 先人、まへのひと  
 せんじん(名) 船人、ふなびと、ふなのり  
 せんじん(名) 前進、すすむ、まへにゆく  
 せんじん(名) 漸進、やうやうすすむ、だんだんすすむ  
 せんじん(名) 全身、からだぢう  
 せんじん(名) 善人、よきひと  
 せんじん(名) 洗身衣、ゆかた、浴衣  
 せんじん(名) 洗心散、かのこと(植物)  
 せんじん(名) 洗身盤、ゆのみだらひ、ぎやうするたらひ  
 せんしん(名) 千辛萬苦、無数の辛苦を謂ふ  
 せんしん(名) 仙草、ふつくさ(植物)  
 せんしん(名) 千尋草、たけ(植物)

せんぞつ(名) 借越、みぶんをとゆること、すすむこと  
 せんぞう(形) 専要、かなめ、緊要  
 せんぞう(名) 千葉、ちば(氏)  
 せんぞう(名) 千葉樹、ひめこぶし(植物)  
 せんぞう(名) 戰役、いくさ、たたかひ  
 せんぞう(名) 遷延、のびのびになる  
 せんぞう(名) 潺湲、さはさは(水の流るる音に云ふ)  
 せんぞう(名) 船縁、ふなばた、ふなべり  
 せんぞう(名) 尖圓、圓錐、すざなり(形体に言ふ)  
 せんび(名) 先妣、なきはは、亡母  
 せんび(形) 賤卑、いやしき、ひくき  
 せんび(名) 仙飛、登仙するを謂ふ  
 せんび(形) 賤微、いやしき、ひくき(地位が)  
 せんび(名) 船尾、ふなとも、とも  
 せんび(形) 鮮美、あざやか、はつきり  
 せんび(名) 前非、まへのあしきこと、先非  
 せんび(名) 漸靡、しせん、だんだんのすすみ(霽の石を穿つが如きの謂)  
 せんび(名) 善美、よきうるはしき  
 せんび(名) 仙躡、みゆき、行幸  
 せんび(名) 染筆、ふでをこもるものかく  
 せんもん(名) 専門、一の事を専ら研究する事  
 せんもん(名) 前門、れももん  
 せんもん(名) 禪門、禪學を謂ふ  
 せんせい(形) 鮮時、よくはれわたれる





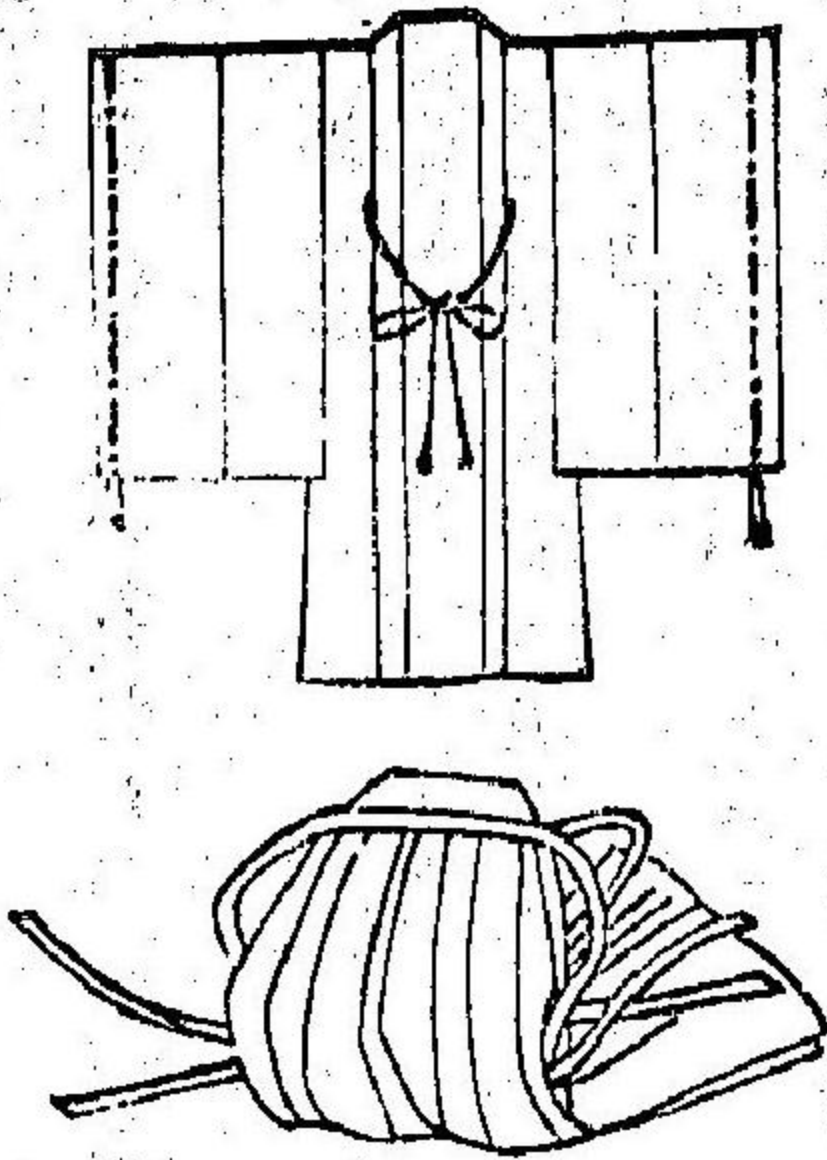


すのへい(名) 水兵、ふなて、水師  
 すいへい(名) 隨兵、したかふつはもの  
 すのべつ(名) 水龍、とちかがみ(植物)  
 すのへう(名) 水豹、わざらし(海獣の名)(動物)  
 すのへん(名) 水邊、みづのはとり  
 すのど(名) 水斗、みづくみ、ひしやく  
 すいど(名) 炊奴、めしたき  
 すいとう(名) 吹筒、ふきづつ、ひふきだけ  
 すいとう(自) 吹透、ふきとほす  
 すのとう(名) 水痘、みづいも(病名)  
 すのとう(名) 水質、みづはき、みづみち、どぶながし  
 すのどん(名) 水飰、水團(飴鈍粉を捏てちぎりて煮たる)  
 すのどん(名) 水豚、江豚、いるか(動物)  
 すいし(自) 推し、推知、れしてしる  
 すのちよう(名) 水澄、まひまひむし(動物)  
 すいちら(名) 醉中、よひのなか  
 すのちう(名) 水中、みづのなか  
 すのちう(名) 水注、みづつぎ、みづさし  
 すのちう(名) 水注子、みづつぎ、みづさし  
 すいしく(名) 翠竹、あそだけ  
 すいしく(自) 隨逐、あそだけひゆく  
 すのちく(名) 水竹、あそだけひゆく(植物)  
 すのちやう(名) 水脹、みづふくれ  
 すいぢやう(名) 翠帳、紅閨、みどりのとばりくれな  
 すいり(名) 翠籬、いけがき  
 すいり(名) 翠籬、いけがき

すいり(名) 醉、蒸、酔、にいてりたる物  
 すいり(名) 巢入、冬鳥が巢にこもる事  
 すいり(名) 素入、みづいり、潜水もぐり  
 すのり(名) 水利、水の便、不便と謂ふ  
 すいり(名) 瑞籬、みづがき、いがき  
 すのり(名) 水栗、ひし(植物)  
 すいり(自) 垂栗、れそれわななく  
 すいり(名) 垂簾、さよりふすべきがりこぶ  
 すいり(名) 垂柳、したれやなぎ(植物)  
 すのり(名) 水洗、みづのながれ  
 すのり(名) 水溜、みづたまり、塘池、みづため  
 すいり(名) 水溜、みづたまり、塘池、みづため  
 すのり(名) 水梁、はし、橋梁  
 すのり(名) 水方、水勢、みづのちから  
 すいたう(名) 睡襖、よるのもの、よぎ、まねき、ぶすま  
 すのれ(名) 水襲、みづがめ  
 すのわん(名) 水灣、かわくま(河曲)、かはのまがり  
 すいか(自) 垂下、たれさがる  
 すいか(自) 誰何、たれどたつぬる、みどがめる(番  
 兵などか)  
 すのか(名) 水茄、ながなすび(植物)  
 すいがい(名) 透垣、すきがき、洗垣、すかしがきね  
 すいがい(名) 垂崖、がけ、さりざし、斷崖  
 すのがい(名) 水涯、みづのはとり、かはぎし、河岸  
 すのがい(名) 水害、みづにてそこなはるること  
 すいかう(自) 吹鼓、ふきたたく  
 すのかう(自) 衰耗、れとろふ

すいかう(自) 推敲、れしたたく(詩文を作る時など  
 に種々に考をめぐらすを謂ふ、也買島の故事より出づ)  
 すいかう(自) 推考、れしかんがへる  
 すいかう(自) 遂行、かかれこなふ、しれはせる  
 すいかう(自) 隨行、したかひゆく、ともびと、し  
 たかひゆく  
 すいから(名) 瑞香、沈丁花、じんぢやうけ、りんぢやうけ  
 (植物)  
 すのから(名) 水香、はなすび、さるすび(植物)  
 すいかく(名) 醉客、さけによひたるひと、よつばらひ  
 すのかく(名) 推販、れしきはむる、しらぶる  
 すのかく(名) 水客、ふなこ、水手、ふなのり  
 すいかく(名) 吹角手、らつばふき(喇叭手)  
 すいがき(名) 透垣、すきがき、木を荒くたてて作れる垣  
 すいかん(名) 醉漢、よつばらひ、さけによひたるもの  
 すのかん(名) 水旱、れはみづ及びでり  
 すのかん(名) 水  
 干(精好の絹  
 を用ひて作れ  
 るひただれの  
 類にて其色定  
 まらず)  
 すいがん 衰眼、  
 老眼、れとろ  
 へめ  
 すのよう(名) 水蠅、あぶ(動物)  
 すのよく(名) 水浴、みづあび

(圖の干水)



すいたい(自) 衰頹、れとろへやぶる  
 すいたい(他) 推戴、れしたたく  
 すのたい(名) 水碓、みづうす  
 すのたい(名) 水壘、えびむし(動物)  
 すいたい(自) 水苔、あをみどり、みづごけ  
 すいたい(自) 隨帶、携帶、たづさふる、つれゆく  
 すいたう(自) 好同士、このむでし  
 すいたう(自) 酔倒、よひたふれる  
 すいたう(名) 炊湯、れねばめしのとりゆ  
 すのたう(名) 水糖、みづせき、みづためいけ  
 すのたう(名) 水道、みづみち、みづひきとゆ  
 すいだう(名) 隧道、ほりぬきみち、トンネル(地下の路)  
 すのだう(名) 水道、みづみち、みづひきとゆ、水管  
 すいたく(自) 推托、かこつける、いひまへにする  
 すのたく(名) 水澤、みづさわ  
 すのれい(名) 水濁、みづがめ  
 すのれう(名) 水蓑、れはたで(植物)  
 すのれん(名) 翠簾、みどりのすだれ(美麗なるを謂ふ)  
 すのれん(名) 睡蓮、うらがめはす、こはちす(植物)  
 すのれん(名) 垂憐、あはれみをたれる  
 すのれん(名) 垂簾、みすをたれる(幼主に代つて太后が政を  
 聴くに謂ふ)  
 すのれん(名) 水練、みづねよぎ  
 すのれん(名) 水練場、游泳場、れよぎば  
 すのれん(名) 水練靴、れよぎくつ  
 すのそ(名) 水蛭、ほらふりむし(動物)  
 すのそ(名) 水蘇、りうなうぐさ(植物)









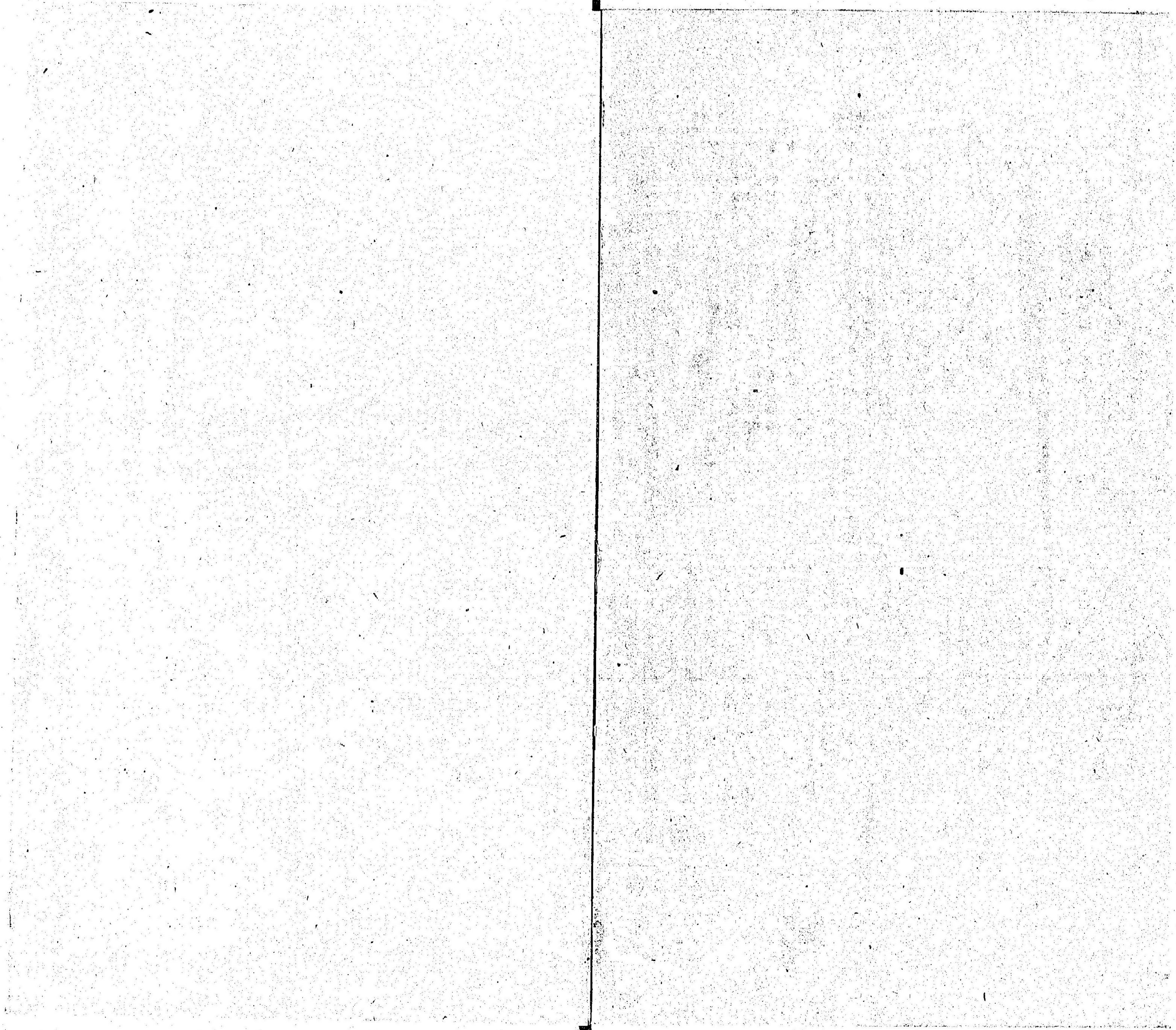










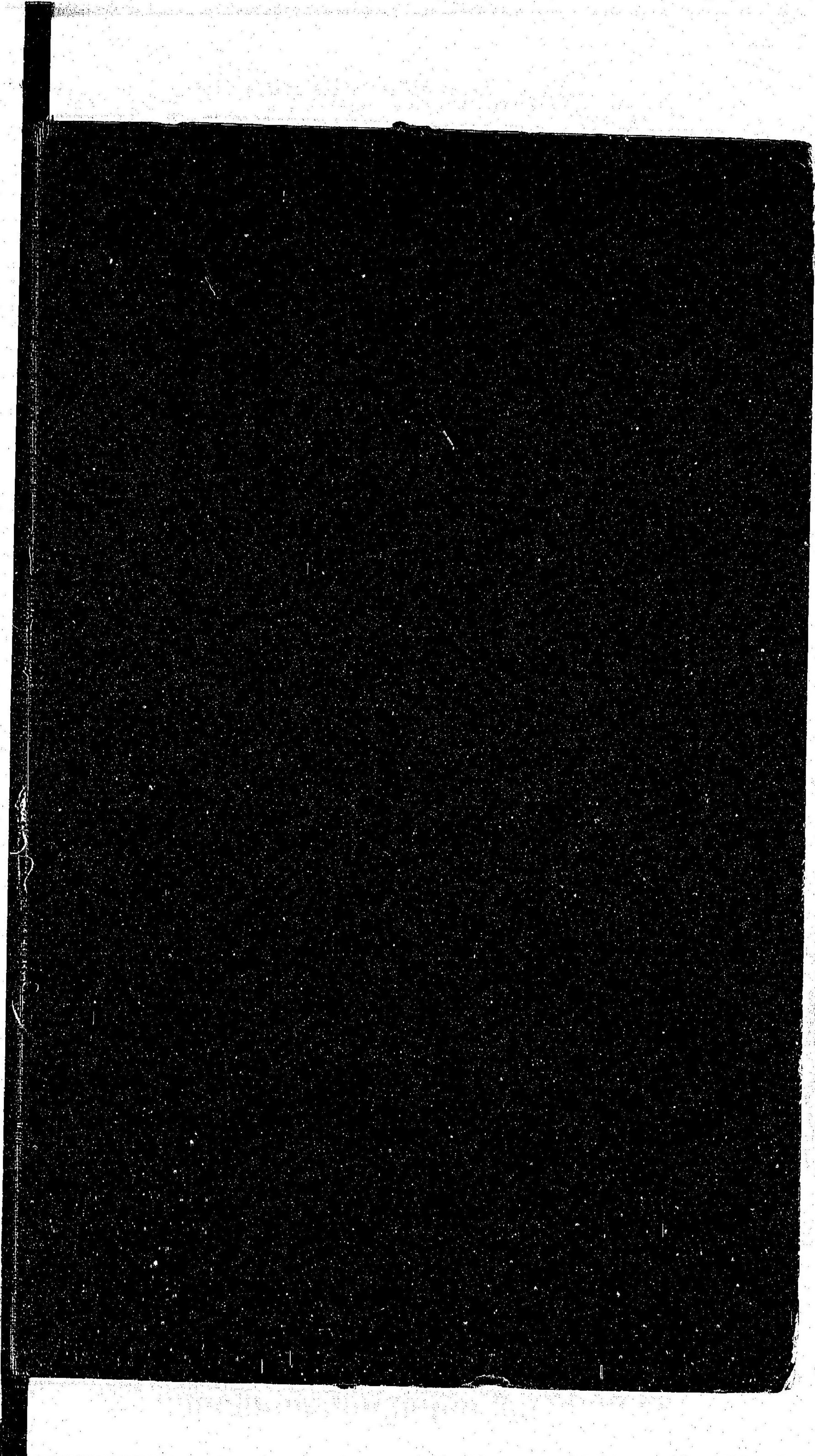




20
90

B







20

90

078217-000-5

20-90

和漢雅俗いろは辞典

高橋 五郎 / 著

[M22?]

DAC-1802





